基本計画が間もなく閣議決定へ

25年度から5年間、計画のポイントは

改正食料・農業・農村基本法に基づく基本計画が間もなく閣議決定される。ポイントを確認する。（2面に関連記事）

講ずべき施策

食料供給など5テーマ

国民理解醸成、自然災害対応も

計画期間は2025～29年度の5年間。この間を「農業構造転換集中対策期間」と位置づけ、農業の構造転換を集中的に推し進める。

基本計画の実効性を高めるため▽食料自給率その他の食料安全保障の確保に関する目標▽具体的施策▽施策の有効性を示すKPI――を設定。少なくとも年1回、目標の達成状況を定量的に調査して公表する。KPIを検証し、PDCAサイクルを回しながら施策を見直し、おおむね5年ごとに基本計画を変更する。

農水省の食料・農業・農村政策審議会が3月27日の会合で答申を取りまとめ、同審議会の大橋弘会長と同審議会企画部会の中嶋康博部会長が会議終了後に江藤拓農相に手交した。江藤農相は謝辞を述べた上で「KPIについては食農審にお諮りすることになっている」と述べ、同審議会が果たすチェック機能に期待を示した。

新基本計画が掲げた「講ずべき施策」は、改正基本法の基本理念を踏まえた▽食料供給▽輸出促進▽国民一人一人の食料安全保障・持続的な食料システム▽環境と調和のとれた食料システムの確立・多面的機能の発揮▽農村振興――の五つのテーマに、国民理解の醸成と自然災害への対応を加えた7本柱とした＝図1。

このうち、食料供給については農水省が1月末に公表した27年度以降の水田政策の根本的な見直しのほか、地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化、親元就農や雇用就農の促進による49歳以下の担い手確保などを盛り込んだ。

大橋会長（中央）と中嶋部会長（左）から答申を受け取った江藤農相

答申を決定した食料・農業・農村政策審議会と同審議会企画部会の合同会議（3月27日）

図1　講ずべき施策のポイント

食料供給（食料自給力の確保など）
○水田政策を2027年度から根本的に見直し
○規模の大小や個人・法人に関わらず農業で生計を立てる担い手を育成・確保
○地域計画に基づき、担い手に農地を集積・集約化
○親元就農や雇用就農の促進による49歳以下の担い手確保　など
輸出促進（輸出拡大など「海外から稼ぐ力」の強化）
○新たな輸出先の開拓、食品産業の海外展開、インバウンドによる食関連消費の拡大　など
国民一人一人の食料安全保障・持続的な食料システム
○食品等の持続的な供給のための取り組み促進
○合理的な費用を考慮した価格形成　など
環境と調和のとれた食料システムの確立・多面的機能の発揮
○「みどりGX推進プラン」（仮称）、新たな環境直接支払交付金による環境負荷低減の取り組み促進　など
農村振興
○民間企業の参画促進、関係人口の増加、内発型新事業の創出、生活インフラの確保
○中山間地域等の振興のため、農村RMOの立ち上げや活動支援による集落機能の維持　など

上記のほか「国民理解の醸成」「自然災害への対応」
※食料・農業・農村基本計画（審議会答申）より作成

目標・KPI

目標は30、KPIは90に

現場への丁寧な説明・周知を

従来の基本計画は食料自給率のみを目標に掲げていたが、新基本計画では食料自給率を含めた30ほどの目標と90ほどのKPIを設定した。食料自給率については、カロリーベース45％（23年度38％）、生産額ベース69％（同61％）のほか、新たに摂取熱量ベース53％（同45％）を目標に追加した＝図2。

そのほかにも、49歳以下の担い手数4万8千（23年の水準を維持）、農林水産物・食品の輸出額5兆円（24年1兆5千億円）など、野心的な目標を掲げた。農地面積の確保目標は412万㌶（24年427万㌶）としており、今後、地域計画の集計・分析が行われる中で、実現に向けた着実な取り組みが課題となる。

一方、サスティナブル（持続可能）な農業構造のKPIでは▽農業分野における生産年齢人口（15～64歳）のうち49歳以下のシェア＝全産業並み（24年64％）に引き上げ▽地域の方針策定に参画する女性農業者の割合＝農業委員30％（23年14％）▽販売金額に占める主業経営体＋法人等団体経営体シェア＝9割（同84％）、担い手への農地集積率＝7割（23年度60・4％）とした。

こうした目標やKPIが現場の共感・やる気につながるよう、現場への丁寧な説明と周知が求められる。

図2　食料供給に関する目標とKPI（抜粋）

①食料自給率目標	
・カロリーベース	38%→45%
・生産額ベース	61%→69%
・摂取熱量ベース	45%→53%
②食料自給力の確保目標	
・49歳以下の担い手数	現状水準（4万8千）を維持
・農地面積	427万ha（2024年）→412万ha

②のKPI（抜粋）	
・農業分野における生産年齢人口（15～64歳）のうち49歳以下のシェア	全産業並みに引き上げ（全産業：2024年64%）
・地域の方針策定に参画する女性農業者の割合	農業委員 14%→30% JA役員 9.6%（2022年）→20% 土地改良区理事 1.4%→10%
・販売金額に占める主業経営体＋法人等団体経営体シェア	84%→9割
・担い手への農地集積率	60.4%→7割
・農用地区域内の農地面積目標の達成状況	農用地等の確保等に関する基本指針に即して設定

※目標は2030年、現状値は2023年（年度）
※摂取熱量は日本人の成人男性の基礎代謝量や1人1日当たりの平均摂取熱量の最低値を参考に、分母を1,850kcalに固定して計算。
※食料・農業・農村基本計画（審議会答申）より作成

30もの目標で国民に戸惑い

国民の監視力強化が必要に

横浜国立大学名誉教授　田代洋一

目標を30も並べたのでは国民は戸惑う。基本目標とサブ目標に分け、カロリー自給率を基本に据える必要がある。せっかく基本法を改正したのに四半世紀も45％据え置きは再考を要する。

〈集積集約→スマート農業化→輸出増大〉が計画のコアで、「輸出農業基本計画」の感がある。日本型食生活と国内市場の深掘りを先行すべきだ。

食料自給率の向上は人と農地の確保に尽きる。認定農業者などに限定せず、「多様な担い手」の確保をめざし、とくに新規就農支援に注力すべきだ。

農地の確保目標412万㌶は、最近の年2・5万㌶減の「成り行き」に過ぎない。円安による企業の国内回帰などで転用増が懸念される。地方分権の名で規制緩和が行き過ぎた。「農地確保は国の責任」の再確認を要する。地域計画による人と農地の確保状況もチェックしたい。

KPIなどで政策の透明度は高まる。後は、「国民全体の指針」「産業政策と地域政策は車の両輪」「農は国の基（もと）」という2020年計画の構えを継承しつつ、国民の監視力を強めることだ。

農地関連改正3法が施行

農地関連改正3法が1日に施行された。農地の確保・適正利用の促進と農地所有適格法人の議決権要件の特例（農業経営発展計画制度）が柱。2022年制度改正による「農用地利用集積計画」の「農用地利用集積等促進計画」への統合も完全施行となり、基盤強化法の利用権設定による農地の貸借は農地バンク経由に一本化された。（2面に続く）

脳内SDGs　シェア菜園

漫画家・コラムニスト　辛酸なめ子

体験を楽しむ

ここ数年、スピリチュアル系の人に会うと「食料危機に備えて、生産者とつながるか、自分が食べるぶんの野菜を栽培したほうがいいですよ」とアドバイスされます。気になっていましたが家は日当たりの悪いマンションで、観葉植物すら枯らしがちです。でも、先日青果店でシェア菜園のチラシを入手。直感的に行ったほうが良い気がして見学会に申し込みました。

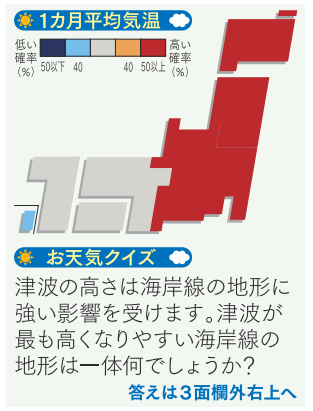
シェア菜園は屋上庭園で実際の地面の上ではないのが残念でしたが、肥料や薬剤、支柱にネットなど基本資材は揃っています。一辺約1・6㍍の区画を1年弱借りて15万円……。運営の人に「がんばれば払ったぶん以上の野菜が作れますか？」と聞いたら「ペイするのはちょっと難しいですね」とのこと。元を取るという考えではなく、体験を楽しむというふうに割り切ったほうが良さそうです。

実を結ぶか心配に

借りる区画は2畝の広さで、6種程度の野菜が植えられるとのこと。そもそもふだんほとんど料理しないので、そのまま食べられるミニトマトはぜひ植えたいところです。キュウリも考えましたが、家庭菜園体験談のサイトを見たら、400本も採れたと書いている人がいて、とても食べきれないので候補から外しました。清里在住の知り合いに「キクイモは生育が早くて栄養価も高い」と勧められたのですが、運営の人に聞いたら、草丈が2～3㍍まで高くなり、繁茂しやすい性質があることから、栽培は遠慮してほしいとのこと。あくまで一時的に借りている土地なので制限が多いです。結局枝豆とヤングコーンにするか、果物はベリー系がいいのかそれともマクワウリか、組み合わせを考えるだけでも楽しいです。もし食料難が来たら、周りの人にもわけて喜ばれたいです。今まで料理しないことで若干肩身が狭い思いをしてきましたが、「菜園で野菜を作っています」と言ったら、意識が高いと認めてもらえるかもしれません。元を取るとか世間体とか、こんな下心だらけで植物を育てて実を結ぶのか心配になってきました。

◇次回は5月2日付

全国農業新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS
2025年（令和7年）
4月4日　金曜日
月4回金曜日発行
農地を活かし 担い手を応援する
農業委員会ネットワーク機構
発行所 全国農業会議所
〒102-0084 東京都千代田区二番町9の8
中央労働基準協会ビル ☎03-6910-1130
©全国農業会議所2025
ホームページhttps://www.nca.or.jp/shinbun
お申し込みは、お近くの農業委員会へどうぞ



今週の記事から

女性が働きやすい職場環境へ　6

認定農業者応援宣言！

全国農業新聞電子版・スタディあぐり閲覧用パスワード
（有効期限：4月4日～5月1日）
r 70404

主張　地域計画と新運動

体制構築して、実現へ取り組もう

地域農業の将来指針となる地域計画が3月31日に策定期限を迎え、全国で2万を超える計画が出来上がった。平均すると1市町村当たり約13もの計画。10年後の地域農業と農地利用の姿を明らかにするという難題に、市町村と農業委員会などの関係機関が連携して取り組んだ成果だろう。

4月から地域計画は実行期間へと移行する。策定が終わったばかりではあるが、取り組みはむしろこれからが本番となる。市町村や関係機関、農業者が連携して、描いた将来を実現するための活動に取り組むことが必要だ。

同時に、地域計画の完成度を高めること（ブラッシュアップ）も求められる。10年後の農地の受け手を特定しきれなかった地域、10年を待たずにリタイア者が出そうな地域、担い手不足が課題となった地域では対応策の検討を急ぎたい。

地域に受け手が見当たらない場合には、地域外の担い手や新規就農者などを呼び込む必要がある。担い手不足は全国的な問題であり、人材獲得合戦も懸念される。受け入れ体制や耕作しやすい環境を地域で検討して、〝選ばれる地域〟になることが必要だろう。

いずれの取り組みも地域の話し合いが基盤だ。この2年間、農業者と関係者が地域農業の将来や課題を話し合ってきた。地域の中に地域農業を話し合う土壌ができたと言える。これから年に1回は話し合いを行い、地域に生まれた土壌を育んでいきたい。

農業委員会組織は今年4月から新運動「地域計画の実現により、持続可能な農業・農村を創る全国運動」に取り組む。めざす将来の実現に向けた活動となるが、農業委員会だけでは実現できない。まずは市町村や関係機関・団体との協力体制を構築しよう。

2025.4.4

週間ニュース

衆参農水委

別枠予算含め財源確保を　基本計画推進で決議

衆参両院の農林水産委員会は3月25日、「新たな食料・農業・農村基本計画に基づく施策の推進に関する決議」を全会一致で採択した。柱は18本で、改正食料・農業・農村基本法の趣旨を踏まえた水田政策の検討・具体化や中山間地域等直接支払交付金の支援拡大、食料の価格形成に関する実効性ある仕組みの構築、就農準備資金などの支給対象年齢要件の引き上げを含めた検討などを明記。新たな基本計画の関係予算については、特に食料安全保障の確保に向けた新たな政策に要する予算について「別枠予算を措置するなど従来の枠組みに捉われず、政府全体で財源の確保に努めること」とした。

また、食料自給率の向上、食料自給力の確保のためには農地が適切に保全管理されることが重要であるとし、地域計画の不断の見直しや家族経営・法人経営を問わない意欲ある担い手への農地の集積・集約化への支援を明記した。多様な農業者については農地の保全・管理に寄与するなど重要な役割を果たすだけでなく、農業水利施設の維持管理、農村社会・集落機能の維持、農業以外の多様な地域資源を活用した付加価値創出などの役割を果たすことが期待されるとし、地域と関係企業などとの結合など意欲的な取り組みを促進するよう求めた。参院の決議には「担い手以外の多様な農業者が農地の保全・管理とともに農業生産活動を行うといった利用上重要な役割を果たしている」との一文を加え、多様な農業者も農業生産活動を担う主体であるとの意味合いを込めた。

農業構造転換集中対策期間

推進へ別枠で予算を

自民合同会議　意見書を決議　既存事業とは別次元

自民党は3月27日、農林関係合同会議を開き、次期「食料・農業・農村基本計画」を踏まえた農業構造転換集中対策期間について、別枠での予算確保を政府に求める意見書を決議した。特に「農地の大区画化」「共同利用施設の再編・集約化」「スマート農業」「輸出促進」などハード整備も伴い計画的に対応する必要がある事業などは既存事業とは別次元の対策として検討し、予算規模を大幅に拡大するよう求めた。

また、地域計画は不断の見直しが必要とし、各市町村の継続的な取り組みへの支援や農地の集積・集約化、規模の大小や個人・法人などの経営形態を問わない担い手の育成・支援策、改正食料・農業・農村基本法を踏まえた多様な農業者の意欲的な取り組みの促進を求めた。その上で受け手がいない農地などを適正利用するため、新規就農や法人・企業参入を促進するよう明記した。

「新たな食料・農業・農村基本計画の実効性確保のための農業構造転換集中対策の推進等に関する決議」を了承し、内容の一部修正などを同党の食料安全保障強化本部に一任した。今後、石破茂首相と江藤拓農相に申し入れを行う予定。

同会議では、次期基本計画や次期酪肉近の本文案、果樹・茶・花き・米粉などの基本方針案も了承した。

改正内容

農用地区域除外の厳格化や原状回復しない際の公表など

利用集積等促進計画は完全施行

1面から続く

施行されたのは、改正食料・農業・農村基本法の関連法として昨年6月に成立・公布された農振法・農地法・基盤強化法の三つの改正法。主な改正内容は、農用地区域からの除外要件の厳格化（農振法）のほか、農地転用許可を受けている者による定期報告（農地法）や違反転用者が原状回復命令に従わなかった場合の公表（同法）の仕組みの創設など。

また、農地の権利取得の許可要件の例示として農作業従事者の配置と農業関係の法令の順守状況の追加（農地法）、地域計画区域内の遊休農地の担い手への権利設定の手続きの迅速化・義務化（基盤強化法）、農地所有適格法人に食品事業者・地銀ファンドからの特例枠を使った出資を認める計画認定制度（同法）が設けられている。

そのほか、2023年4月に施行された基盤強化法・農地バンク法の改正法により市町村の「農用地利用集積計画」は農地バンクが策定する「農用地利用集積等促進計画」に統合され、経過措置を終えた4月から完全施行となった。これにより、農地の権利移動は農地バンク法と農地法3条のいずれかに基づき手続きすることになる。

食糧用総需要は552万トン　国産100万、外国産452万トン

25年度小麦の需給見通し案

農水省は3月26日、2025年度の麦の需給に関する見通し案を示した。

食糧用小麦の総需要量は、直近3カ年（22～24年度）の平均総需要量の552万トン。これに対して、国内産流通量は94万トン、米粉用国内産米の流通量は6万トンで、両者を総需要量から差し引いた外国産需要量（必要となる輸入数量）を452万トンと見通した。また、外国産食糧用小麦は不測の事態に備え、外国産需要量の2～3カ月分を備蓄しており、25年度目標は87万トンとした。

一方、食糧用大麦・はだか麦については、総需要量31万トン、国内産流通量12万トン、総需要量から国内産流通量を差し引いた外国産需要量（同）を19万トンと見通した。

同日の食料・農業・農村政策審議会食糧部会で了承された。

改正土地改良法が成立、1日施行

改正土地改良法が3月31日の参院本会議で可決・成立し、4月1日に施行された。

標準耐用年数を超過する基幹的農業水利施設が大半を占めていく中、計画的な更新や適切・継続的な保全のための措置を講じる。

具体的には▽国・都道府県の発意で頭首工、用水機場など基幹的な農業水利施設の更新事業を実施できる制度の創設▽土地改良区が連携管理保全計画に基づき土地改良施設・末端施設の保全を行う仕組みの創設▽農業者の申請・同意なく特例的に急速に実施できる急施の事業に防災・減災関連の事業を追加――など。

棚田地域振興法と山村振興法の改正法も31日に成立、1日に施行された。

新商品や需要創出など

米穀の新用途促進へ　農水省が基本方針案

農水省は3月26日、新たな「米穀の新用途への利用の促進に関する基本方針案」を明らかにした。同基本方針は、米粉用米・飼料米の利用の促進に向けた基本的な方向を示すもので、食料・農業・農村基本計画の見直しに合わせておおむね5年ごとに改定している。

施策の方向性に掲げたのは、米粉の需要をさらに拡大する好循環の形成。具体的には、米粉の特長を生かした新商品開発や利用方法の情報発信、ノングルテン米粉の認証制度の周知と需要創出、生産者と実需者の広域でのマッチング、コスト低減につながる米粉や米粉製品の製造能力の強化、飼料用米を含む多収品種の導入と生産性向上などを挙げた。

同日の食料・農業・農村政策審議会食糧部会で了承された。今後は意見公募（パブリックコメント）の結果を踏まえ、同審議会が農林水産大臣に答申を行う予定。

25年度予算成立

2025年度予算が3月31日に成立した。同日の参院予算委員会・本会議で再修正された予算案が賛成多数で可決。その後衆院に戻され、同日午後の本会議で成立となった。

農業構造転換集中対策期間の初年度となる農林水産関係予算は前年度から20億円（0・1％）増の2兆2706億円を確保した。

ビジョン2030の実現に向け具体策

JA全農が臨時総代会

JA全農は3月25日の臨時総代会で、2025年度の事業計画を決定した。3カ年で定めていた従来の中期計画に代わり、30年に取扱高6兆円をめざす「JA全農事業ビジョン2030」を掲げ、その実現に向けた具体策を盛り込んだ。25年度の取扱高は前年度比1300億円増の5兆500億円を計画する。

米穀農産事業では、25年産主食用米の集荷量を国内生産の3割に当たる227万トン以上に回復させることをめざす。そのための方策として、概算金の提示時期を早めるなど既存の価格決定ルールを見直すことや、生産者の経営を個々にサポートしながら、米の出荷を呼びかけていくことなどをあげた。

ピーマン・ヒラメ除き価格、全国平均下回る

福島県産重点6品目

福島県産の重点6品目（米、牛肉、モモ、あんぽ柿、ピーマン、ヒラメ）の価格は、ピーマンとヒラメを除き、全国平均を下回っていることが農水省の調査で明らかになった。牛肉、モモ、干し柿は震災前の水準に回復していなかった。出荷量はモモとヒラメが震災前を上回ったが、肉、ピーマンは減少傾向で推移。米、干し柿は全国的に出荷量が減少する中で、同県産も減少した。

事業者・消費者アンケートによると、同県産品に対する消費者の購入姿勢は比較的「前向き」に評価している一方、小売り・外食業者はおおむね「中立的」と評価していることがわかった。

「見える化」対象ピーマンを追加

農水省が方針

農水省は、環境負荷低減の取り組みの「見える化」の対象品目に指定野菜のピーマン（露地・施設）を追加する方針を明らかにした。温室効果ガスの簡易算定シートを作成し、ガイドラインに品目名を追記した上で今月からの本格運用をめざす。指定野菜のうち、見える化の対象品目となっていないサトイモとブロッコリー（2026年度に指定野菜に追加予定）については、生産者の要望や統計情報などを踏まえて引き続き検討する。

農薬の誤飲など人の事故は20件

23年度

農水省は2023年度の農薬の使用に伴う人に対する事故は20件、農作物や家畜、魚類の被害は26件だったと公表した。

主な要因は、人に対する事故が▽農薬を適切に保管・管理しておらず誤飲した▽土壌くん蒸剤（クロルピクリン剤）を使用した時に被覆をしなかった▽農薬の散布時に農薬用マスクや保護メガネなどの防護装備が不十分だった――など。農作物の被害（24件）は▽農薬の飛散防止対策が不十分だった▽土壌くん蒸剤（クロルピクリン剤）を使用した時に、被覆をしなかった、または何らかの理由で漏洩（ろうえい）した――などとなっている。

全国農業会議所人事

▽事務局長代理（総務部長兼務）（事務局長代理、組織事業本部長、経営・人材対策部長兼務）黒谷伸▽農政部長（農業人材対策担当部長）橋本和孝▽農業情報対策部長（新規就農相談センター所長兼務）（総務部長）阿久津正▽経営対策部長（農地利用最適化担当部長）佐藤陽平▽人材対策部長（日本農業法人協会出向）鈴木一寛▽新聞業務部長（農政部長）大出丈夫▽日本農業法人協会出向（新聞業務部次長）東郷恵太▽農地・組織対策部次長（農業者年金基金出向）今井貴也▽人材対策部次長（経営・人材対策部考査役）今井大▽新聞業務部次長（新聞業務部考査役）海藤洋平▽出版部次長（栃木県農業会議出向）青木長朗

（4月1日付）

新刊
新　農地全書　第9版
農地の売買、転用、賃借、相続、譲与、登記、補償、収用、紛争処理関係など、農地に関する様々な相談を問答形式でまとめた1冊。昭和47年以来のベストセラー。　図書コードR06-33 ●2860円(税込)

新刊
農地中間管理事業法の解説
平成25年に制定された農地中間管理事業法に農地の出し手と受け手の間に介在し、所有者から借り受けた農地を優先希望者に転貸することを定めている。令和4年度の改正法も盛り込んだ解説書。　図書コードR06-21 ●2640円(税込)

農地と農委活動の新刊・好評本　全国農業図書

2025年度版　農業委員会活動記録セット
記録簿、二相談カード、農地利用最適化活動の記録メモ等をまとめた1冊。農地最適化活動の記録メモ等をまとめた1冊。農地最適化活動の記録メモ、総会への出席や農地の現地確認等の実績をまとめられる
図書コードR06-40 ●530円(税込)

新刊
農業委員会業務必携　2024年度版
最重要の必携図書として毎年度刊行する本書。地域計画策定における農業委員会の役割を特集。農委法・関係法令に基づく農業委員会の業務を正面から解説。
図書コードR06-10 ●1480円(税込)

農業経営基盤強化促進法の解説　3訂
条文ごとの詳しい解説。法制定とその後の経緯などを掲載。2022年改正の最新法令に基づき大幅改訂。三度対応の法令と処理基準、共通様式も盛り込む。
図書コードR05-49 ●3850円(税込)

農業経営基盤強化促進法　一問一答集　3訂
「地域計画の策定」「農用地利用集積等促進計画の策定」など2022年改正に基づき大幅改訂、制度運用の手引き。
図書コードR05-50 ●2530円(税込)

農地法の解説　改訂第4版
法律の条文ごとに政令、省令、事務処理基準、運用通知等に加え、過去の通達や照会への回答、判例も引用した解説書。
図書コードR05-38 ●3630円(税込)

よくわかる農地の法律手続き　5訂
農地の法律手続きのうち頻度の高い農地の売買、賃借、農地以外への転用等について、流れ図、申請書の記載例、判例等を交えて解説。
図書コードR05-43 ●2200円(税込)

新・農地の法律早わかり！　改訂第6版
農地法から基盤法、中間管理法、農振法、市民農園法まで、その法律手続きや事業の流れを説明。
図書コードR05-27 ●850円(税込)

農業委員会研修テキスト1　農業委員会制度　第6版
農業委員会制度の概要と農業委員・推進委員・農業委員会の業務を解説。
図書コードR05-16 ●990円(税込)

農業委員会研修テキスト2　農地法　第6版
農地制度の概要、農地法にもとづく農業委員会・農業委員・推進委員の業務を解説。
図書コードR05-17 ●480円(税込)

農業委員会研修テキスト3　農地関連法制度　第4版
基盤強化法、中間管理法、農振法等の基本的な仕組みと委員会の役割を解説。
図書コードR05-18 ●330円(税込)

農業委員会研修テキスト4　生産緑地法
生産緑地の税制特例と行為制限をはじめとして、制度の仕組みやメリットを解説。
図書コードR05-36 ●880円(税込)

農業委員会研修テキスト5　都市農地貸借法
都市農地の貸借の円滑化に関する法律による農地の貸借の仕組みや相続税納税猶予制度との関係を解説。
図書コードR05-42 ●770円(税込)

農業委員会における女性登用と女性の活躍
農業委員会への女性参画に向けた各種施策の経過や女性委員の活躍事例、登用への取り組みなどを通して専門家が読み解く。
図書コードR05-23 ●770円(税込)

独立就農・企業参入の支援と農業委員会の役割
農業委員会は独立就農・企業参入をどう支援すべきか、事例等から分析する。
図書コードR05-44 ●770円(税込)

農業委員・推進委員活動マニュアル
農地利用最適化の推進活動の進め方、必要な農地制度等の基礎知識を網羅して解説。一地域計画」の策定に向けた取り組みも収録。
図書コードR05-07 ●660円(税込)

我が家の農地が地域の宝であり続けるために
未来に向けて家族で考えよう　我が家の状況や農地などの資産を整理するノート。家族で話し合うきっかけをつくる。
図書コードR05-31 ●770円(税込)

農業委員・推進委員の皆さんへ
地域計画　話し合いの手引き
地域計画の話合いの手引きをまとめたパンフレット。ファシリテーション方式・ワークショップ方式のための手法を事例を交えて紹介。
図書コードR05-34 ●220円(税込)

新刊
こうやった！目標地図の座談会
試行錯誤の実践記録
農業委員・農地パトロール実施者・農業の担い手・農業関係者が未来の地域（集落）をつくる。著者による書き下ろし。
図書コードR06-09 ●990円(税込)

新刊
地域の未来を描く座談会　理論編
参加者が楽しく積極的に発言できる座談会のつくり方を会議ファシリテーター協会（NFFA）が試行錯誤しながら培った「理論」に基づいてわかりやすく解説。
図書コードR06-18 ●990円(税込)

新刊
2024年度版　農家相談の手引
地域計画、農地転用、認定農業者、簿記、農業者年金を一冊に凝縮。農家の様々な相談対応に活用できる手引書。
図書コードR06-20 ●850円(税込)

新刊
農業振興地域制度のあらまし
農業振興地域制度の仕組みについてイラストや図でなるべくわかりやすく解説した小冊子。令和6年6月に公布された農地関連法の改正も盛り込んだ。
図書コードR06-23 ●286円(税込)

農業委員のための和解の仲介の手引
照応例文に則度化された和解の仲介制度と農地等の利用関係を巡る紛争を解決できた　和解の仲介の制度内容やとるべきのあり方、和解案の作成方法について簡単にまとめた手引書。
図書コードR06-28 ●4400円(税込)

新刊
農地転用許可制度のあらまし
制度概要等をイラストや写真で分かりやすく解説した小冊子。令和6年6月に公布された農地関連法の改正や営農型太陽光発電を盛り込んだ。
図書コードR06-16 ●286円(税込)

新刊
活動記録簿記入の手引　最適化分類表付
活動記録簿の具体例を収入例を紹介。執筆者は岩手県遠野市農業委員会の農業委員事務局長。パンフ加工と最適化分類表を収録。
図書コードR06-39 ●660円(税込)

初めての農業委員会1

農地中間管理事業法の解説

全国農業図書

●お申し込みは都道府県農業会議へ
発行　全国農業委員会ネットワーク機構
一般社団法人全国農業会議所
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8
URL　https://www.nca.or.jp/tosho/
定価税込・送料別
都道府県農業会議電話番号
・北海道 011(281)6761　・青森 017(774)8580　・岩手 019(626)8545　・宮城 022(275)9164　・秋田 018(860)3540　・山形 023(622)8716
・福島 024(524)1201　・茨城 029(301)1736　・栃木 028(648)7270　・群馬 027(280)6171　・埼玉 048(829)3481　・千葉 043(223)4480
・東京 03(3370)7145　・神奈川 045(201)0895　・山梨 055(228)6811　・岐阜 058(269)2527　・静岡 054(294)8321　・愛知 052(962)2841
・三重 059(213)2022代　・新潟 025(223)2186　・富山 076(441)8961　・石川 076(240)0540　・福井 0776(21)8234　・長野 026(217)0291
・滋賀 077(523)2439　・京都 075(441)3660　・大阪 06(6941)1270　・兵庫 078(391)7221代　・奈良 0742(22)1101代　・和歌山 073(432)6114
・鳥取 0857(26)8371　・島根 0852(22)4471　・岡山 086(234)1093　・広島 082(545)4146　・山口 083(923)2102　・徳島 088(678)5611
・香川 087(813)7751　・愛媛 089(943)2800　・高知 088(824)8555　・福岡 092(711)5070　・佐賀 0952(20)1810　・長崎 095(822)9647
・熊本 096(384)3333　・大分 097(532)4385　・宮崎 0985(73)9211　・鹿児島 099(286)5815　・沖縄 098(889)6027
農と食の未来を拓く　全国農業図書

1面お天気クイズの答え　リアス式海岸　V字型の入り江に入り込んだ津波は力が集中しやすく、高さが増す傾向にあります。

食耕論

「担い手」不足と農地減少 西日本でより進行

品川 優（しながわ まさる） 佐賀大学教授
2002年横浜国立大学大学院国際社会科学研究科博士課程後期修了。博士（経済学）、03年佐賀大学経済学部専任講師、15年同教授。

策定期限を迎えた地域計画に関し、前編は「担い手」（効率的かつ安定的な経営体）の側面から地域計画を求める背景を探り、後編は地域計画をめぐる現状や課題、またその旗振り役と位置付けられた農業委員会の役割などをみていく。

担い手すでに不足・枯渇

農水省が公表した2030年見通しによると、20年に比べ農業経営体、主業経営体、準主業・副業的経営体がいずれも半減し、集落営農などの法人経営体は25％増加する。

一方、20年農業センサスの主要指標を、農業集落数で除した平均的な集落の姿をみると、農業経営体8（うち販売農家7戸）、自給的農家5戸、土地持ち非農家11戸で構成され、そのうち主業経営体は2、その他に集落営農等は0・2ある。先の見通しに即せば、主業経営体は1へ半減し、集落営農は0・25へ増えるが4集落でようやく1組織になる計算である。実際には、平野部と中山間地域などの相違により深刻度合いは異なるが、少なくない集落で担い手がすでに不足・枯渇しており、将来はそれがより広がり強まる。

そうしたなか、現在及び10年後の将来を見据えた担い手の確認と、農地の集積・集約を図るべく策定が義務付けられたのが、本テーマの地域計画である。

農水省資料から全国の地域計画の進捗状況をみると（24年11月）、地域計画の策定を協議する場を設置した地区数は2万24（1594市町村）あるが、完成し公告に至った地区は960（125市町村）と全体の5％弱にとどまる。25年3月末には2万1299地区（1633市町村）を見込んでおり、人・農地プラン（以下「プラン」）の実績2万1884地区（1555市町村）を踏まえると、地域計画の多くはプランをベースとしているものと推測される。

「地域計画」実現に向けた課題と農業委員会の役割（前編）

東日本、プラン実質化相対的に可能な状況

そこで、もう少し踏み込んで数値を公表しているプランの特徴をみたのが表である。表の上段は、日本の農地面積、プランの進捗別及び合計の農地面積を、それぞれ東日本と西日本に分けて各比重をみたものである。

農地面積では東日本78％、西日本22％の比重であり、プラン合計もほぼ同値である。しかし、プランを既に実質化（プラン内農地の5割以上を認定農業者等の中心経営体に集積）しているケースでは東88％に対し西は12％、一方実質化に取り組み中では東65％、西35％と比重が大きく変わる。

したがって、東日本ではプランの実質化が相対的に可能な状況、つまり集積すべき「担い手」が明確であり、それが特定者あるいは複数人いるのに対し、西日本では「担い手」がみつけにくい、もしくはみつからない状況を示している。換言すると、西日本の場合、「担い手」そのものの確保が大きな課題ということである。なお、西日本における00年の農地面積の比重は25％であったことを踏まえると、「担い手」不在と同時に農地面積の減少がより進んでいる点も看過できない。

表　人・農地プランの実質化状況

（単位：％、ha）

		農地面積	人・農地プラン 合計	既に実質化済み	実質化の取り組み終了	実質化に取り組み中
比重	全国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	東日本	77.6	76.6	88.4	71.4	65.1
	西日本	22.4	23.3	11.6	28.6	34.9
単位当たり面積	全国	23	184	246	181	98
	東日本	35	294	376	264	219
	西日本	11	82	68	101	48

資料：『2020年 農業センサス』及び農水省資料より作成。
注：1）「東日本」は東海以東、「西日本」は近畿以西である。
2）「単位当たり面積」は、農地面積は1集落当たりの面積、人・農地プランは1プラン当たりの面積をあらわしている。

8集落前後でプランを作成

他方、表中の下段は、農地面積は1集落当たりの面積、プランは1プラン当たりの面積をあらわしている。その特徴として、一つはプラン面積を集落面積で除すとプランを構成する集落数となり、プラン合計では全国、東・西日本ともに8集落前後でプランを作成していることになる。つまり、西では大字や明治合併村、東は明治合併村といった範域である。いま一つは、プランの進捗別ではいずれも取り組み中の面積が小さい、つまり範域が狭い。

集落超えた範域で「担い手」が活動

以上を踏まえると、「担い手」の確保において一定の範囲・規模が求められ、そうでなければ取り組み中のように確保することが難しくなるということである。それは同時に、「担い手」は集落を超えた範域にまで活動を広げていることでもある。このような特徴や課題は、地域計画の策定にもそのままスライドすることになる。

基本計画の策定を受けて 5カ年通しでの予算化へ

深層

食料・農業・農村基本計画案は11日閣議決定される運びで、当面農政は食料安全保障の確立、農業の構造改革などの実現を期す向こう5カ年での予算確保に取り組む。

閣議決定がズレ込んだのは自民党政務調査会の承認が必要になったため。厳密には基本計画は政調事案ではない。しかし食料安全保障強化本部（森山裕本部長）が〝決議〟を起こすこととなった。首相を真ん中に関係議員が囲んで決議書を手渡す光景をたびたび見かけてきたが、首相への決議事案は政審を通さなければならないのがルールだ。決議は基本計画の実現をめざす趣旨であることから、計画案も決議ともども政調に附すというのだ。

政調の開催は週1回、火曜日に開かれる。4月1日は休みで、最早が8日の開催となることから11日の閣議になった。

政審、閣議を通れば予算化へ動き出す。既に与党首脳からは基本計画がカバーする5カ年通しでの「事業規模、予算額を積み上げるよう求められている」（農水省筋）。『骨太の方針』で何をどこまで具体的に書き込めるか。

基本計画案には〝国民理解の醸成〟が極太の字で掲げられ〝農業等に対する消費者の更なる理解や実際の行動変容につなげるため食育等を推進〟するとしている。しかし国民に理解を求めるとすれば、国民が知りたいことにも応えなければならない。求めるだけでは一方通行で理解の醸成とはならないであろう。

昨夏始まった基本計画策定への検討は不幸なことに米の品薄・価格高騰という異常な事態と並行するかのように進んできた。秋には政治の不安定化も加わった。こうなると農政にはコントロール不能で、混乱を横目にしながらの基本計画策定では「こんなことぐらいしか書けなかった」。しょげるのも無理はない。

米については「今のようにやっていたのでは同じような事態は起こりかねず、農政自体にショック療法が必要なのかもしれない」。米次第の農政はまだまだ続きそうだ。

農人伝

自給家族方式で集落を守る

鈴木 辰吉 ❹
愛知・豊田市

市が山村対策に本腰

豊田市が森林保全や山村地域の過疎対策を重視したのには、理由があります。

2000年（平成12年）の「東海豪雨」です。未曾有の集中豪雨で、豊田市を流れる矢作川上流のダムに大量の土砂が流入し、緊急大放水が行われた結果、下流域が激甚災害に見舞われました。

豊田市街地も、あわや堤防決壊かという危機に直面しました。上流山村の人工林が整備されていれば、これほどの災害にならなかったのではないか。その反省から、周辺山村との合併を機に、07年に「豊田市森づくり条例」を制定し、山村対策に本腰を入れたのです。

総合企画部長時代。市議会答弁する鈴木氏

おいでん・さんそんセンターを設立

12年、僕が部長に就任した総合企画部は、その過疎対策を担う部署でした。といっても、任期は定年前の1年間だけ。最大の仕事は市議会答弁でしたね（笑）。

その市議会で、「合併して何年もたつのに効果が出ていない。カネをかけても砂漠に水をまくようなものだ」と批判されました。

就任したばかりの僕に言われても…と思ったけれど（笑）、実際、道路や交通網、農地基盤整備などに多額の予算をかけても、過疎は止められなかったのです。

それどころか、合併後にさらに過疎化が進んだ山村では、あきらめ気分が広がっていました。条件不利補正のハード事業だけでは限界があると思いました。

敷島地区の変化

ただ一方で、僕の地元の旧旭町敷島地区では、小さな変化が起きていました。09年、豊田市が「日本再発進！若者よ田舎をめざそうプロジェクト」で、山村に若者を呼び込んだのです。

リーマンショック直後だけに、50人もの応募があり、選抜された10人が、山村に来てコミュニティーに入り、祭りや運動会をやったり、住民がとっくにあきらめた農業にチャレンジするとか言い出した（笑）。

最初は遠巻きで見ていた住民たちも、彼らの一生懸命さにほだされて、次第に変わっていきました。当時、名古屋大学教授でプロジェクトを主導した牧野篤先生（後に東京大学教授）の力も大きかったと思いますが、10年には、自治区の地域ビジョン「しきしま♡ときめきプラン」も策定されました。

12年、僕が定年退職と同時に、都市と山村をつなぐ中間支援組織「おいでん・さんそんセンター」を市の機関として設立したのは、ちょうどそんな時期でした。

構成　榊田みどり

つれづれ農日記

2代目ボンクラ米農家の戯言
㈲フクハラファーム 代表取締役社長
滋賀・彦根市 福原 悠平

農家は米が「作れない」のか？

はじめまして。本年こちらのコーナーをお預かりすることになった滋賀県の福原と申します。

タイトルの通り、稲作を中心とした農業法人の2代目になります。「ボンクラの戯言」として、適当に読み流していただけますと幸いです。

さて、このタイミングなのでお米の話題に触れないわけにはいかないでしょう。

減反否定に戸惑い

私が今最も気になるのは、いわゆる減反政策に対して強く否定的な言説が湧き上がってきている点（すでに減反は廃止になっていますが、ややこしいので減反と記載します）。専門家の方までもがそういった論調であることに驚きと戸惑いを感じています。

その影響なのか一般の方までもが「減反によって米農家は米を作れない！」といったコメントをネット上で発信されているのが散見されます。ちょっと待ってほしい。

われわれは自分たちの意思で生産する品目を決定しています。小麦にしろ大豆にしろ実需者の声を聞いて、あるいは市場動向をある程度見ながら生産してきました。

ニーズに応じた生産

特に弊社では近隣生産者とも連携しながら、高タンパクな国産小麦や高オレイン酸大豆といった近年新たにニーズの生まれた品種の生産に取り組んでいます。こういった取り組みまで否定されているようで、個人的には極めて残念です。ニーズに応じた生産に取り組むことで受けられる交付金を活用しているにすぎず、決して政策によって米が作れないから米以外を作っているわけではありません。

加えて加工用米などについても、地元関西の酒造メーカーやお餅メーカーなどとはもう何年も前から契約栽培を継続しています。こういった背景は知っていてほしいですね。

また、全面積を米で作付けすると労働時間の平準化が図れません。他穀物や野菜などを生産することで米の閑散期に業務を創出し、通年雇用を可能にしています。専門家の方にはもう少し現場を見た上で情報発信をお願いしたいところです。◇次回は5月2日付

あなたのお米ネットで販売。手取りを増やそう！
MARKETING PROJECT
Mマートは、農林水産省が推進する「食品ロス・減塩応援隊」を応援します

大好評開催中！
お米オークション
お米価格に迷ったら出品しましょう！
精米・玄米・中米を100kg以上で出品！
買い手が入札・価格OKなら
売り手が販売ボタンを押して売買成立！
御社次第で相談機能もあります！
出品、不明な点等のお問い合わせは 03-6811-0124 九谷田(クタニダ)迄
お振込は一切ありません。
お米オークションの販売手数料は8%です。

こちらも売れてます！
大口取引におすすめ
お米以外も出品OK！

2025年3月25日現在
お米落札価格

大口取引専門（100kg以上）の新しい市場
ネット大卸オークション
大口取引商品をノーリスク(無料)で掲載　御社(売り手)が承諾した時のみ取引が成立
最小ロット100kg以上　販売手数料12%　掲載期間は最低5日掲載

岩手県産 令和6年 玄米 つきあかり 未検査	120kg	610円/kg
岩手県産 令和6年 精米 いわてっこ 未検査	510kg	640円/kg
岩手県産 令和6年 精米 いわてっこ 未検査	210kg	670円/kg
岩手県産 令和6年 精米 あきたこまち 未検査	210kg	640円/kg
岩手県産 令和6年 玄米 つきあかり 未検査	120kg	680円/kg
山形県産 令和6年 精米 つや姫（特栽） 1等	100kg	750円/kg
新潟県南魚沼産 令和6年 玄米 コシヒカリ 1等	120kg	800円/kg
新潟県産 令和6年 玄米 有機栽培 にじのきらめき 1等	300kg	685円/kg
新潟県産 令和6年 玄米 有機栽培 にじのきらめき 1等	300kg	550円/kg
新潟県産 令和6年 玄米 いたたき 未検査	300kg	600円/kg
栃木県産 令和6年 玄米 キヌハナモチ（もち米） 未検査	600kg	600円/kg
兵庫県産 令和6年 玄米 はりまもち もち米 未検査	120kg	500円/kg
兵庫県産 令和6年 精米 ひのひかり 未検査	290kg	500円/kg
兵庫県産 令和6年 精米 ひのひかり 未検査	348kg	500円/kg

Mマート 業務用食材卸売市場 [東証グロース コード:4380]
Mマート 検索

お米オークションのトップページはこちら ▶ www.m-mart.co.jp/kome/

経営者セミナー開催のご案内
2025年5月13日(火) 13:30開催（約1時間）
〈セミナー参加費〉1社2名様まで無料（リモート参加可）
ネット卸（無人卸）の実際と活用法

買い手会員数 229,113店以上（2025年3月25日現在）

株式会社Mマート
〒163-1326 東京都新宿区西新宿6-5-1
新宿アイランドタワー 26階
TEL.03-6811-0124 FAX.03-6811-0139

生産を　春夏野菜　主要病害虫防除のポイント

病害

今年の2月の気象は、東日本でやや気温が高く推移した一方、西日本で気温が平年より低く推移した。また、太平洋側で降水量が平年を大きく下回り、日照時間が平年を上回って推移した。また、気象庁の長期予報では、3月～5月の気温は東日本と北日本でやや高く、西日本で平年並みと予報されており、降水量は東日本と北日本で平年並み、西日本でやや少ないと予報されている。雨風により飛散し、多湿により感染する病害については、平年よりもリスクがやや低い可能性があるが、梅雨から夏季の蔓延期に向けて可能な限り圃場内の病原密度を低減しておくことが重要と考えられる。ここでは、春夏野菜に発生しやすい病害の一部を例にその対策を紹介する。

静岡県農林技術研究所　植物保護・環境保全科　主任研究員　片山紳司

葉茎・果実に発生する病害対策

重要な殺菌剤の予防散布　病原菌密度下げる対策を

春先に気温が上昇するとともに、雨や高湿度の時期が続くと、雨水や植物体への結露によって、うどんこ病や灰色かび病などの中低温を好む地上部病害が発生しやすくなる。さらに、野菜類の炭疽病などの高温を好む病害の胞子飛散もこの時期に開始することから、夏季の激発を防ぐためには、未然の対策が重要である。

うどんこ病は、ウリ科野菜、ナス科野菜、イチゴなどに白い粉状のカビを生じ、果実に発生すると可販果収量を低下させ、葉茎に多発すると草勢の低下による減収を招く。気温20～25度程度で発生しやすく、乾燥条件で胞子を拡散し、多湿条件で胞子の発芽、感染が進むとされる。多くの場合、その寄主範囲は狭く、科をまたいで感染が広がることはほとんどない。野外では、秋になると菌そう上に閉子のう殻と呼ばれる小黒粒を形成し、宿主の残渣などに付着して越冬し、次年度の第一次伝染源となる。

防除対策として、他の病害と同様に予防的な散布が重要であり、キノキサリン系水和剤などの殺菌剤耐性リスクの少ない多作用点殺菌剤を中心に、発生初期からのローテーション散布を徹底することが重要である。近年、紫外光（UV－B）照射による発病抑制がイチゴで実用化され、「UV－B電球型蛍光灯」として市販されている。夜間に2～3時間点灯することにより発病が抑制される。

灰色かび病は多くの作物を犯す多犯性の病害で、日平均気温が20度前後で湿度が高く、かつ日照が少ないときに発生しやすい。また、施設栽培では、朝夕の冷え込みにより植物体が結露することで発病が助長される。できるだけ換気を図り、多湿を避けるほか、発病部位は早めに除去し、圃場内に伝染源を残さないように努める。灰色かび病は、特に薬剤耐性リスクの高い菌とされ、さまざまな殺菌剤への耐性が報告されている。地域の薬剤感受性検定の結果に注意し、すでに多くの地域で耐性が報告されているQoI剤やSDHI剤などの一部殺菌剤は使用を避け、耐性菌リスクの低い保護殺菌剤を有効に活用する。

炭疽病は、25度前後を生育適温とし、春から秋にかけて、梅雨や台風に伴って感染が拡大する。イチゴ炭疽病は、主に潜在感染していた育苗親株から感染が拡大すると考えられ、6月頃から発病が認められる。組織培養苗等の無病苗を活用し、初期の病原菌密度を下げるとともに、罹病株の早期除去に努めることが重要である。また、炭疽病も多くの単作用点殺菌剤へ耐性菌が報告されているため、キャプタン剤や有機硫黄剤などの保護殺菌剤の有効活用を心がけるほか、防除効果の低い薬剤の散布はかえって感染拡大を招くリスクがあることに留意する。

葉（左）と葉柄（右）に発生したイチゴ炭疽病（接種）

トマトうどんこ病

土壌伝染性病害対策

輪作や薬剤での土壌消毒　多様な対策で被害を抑制

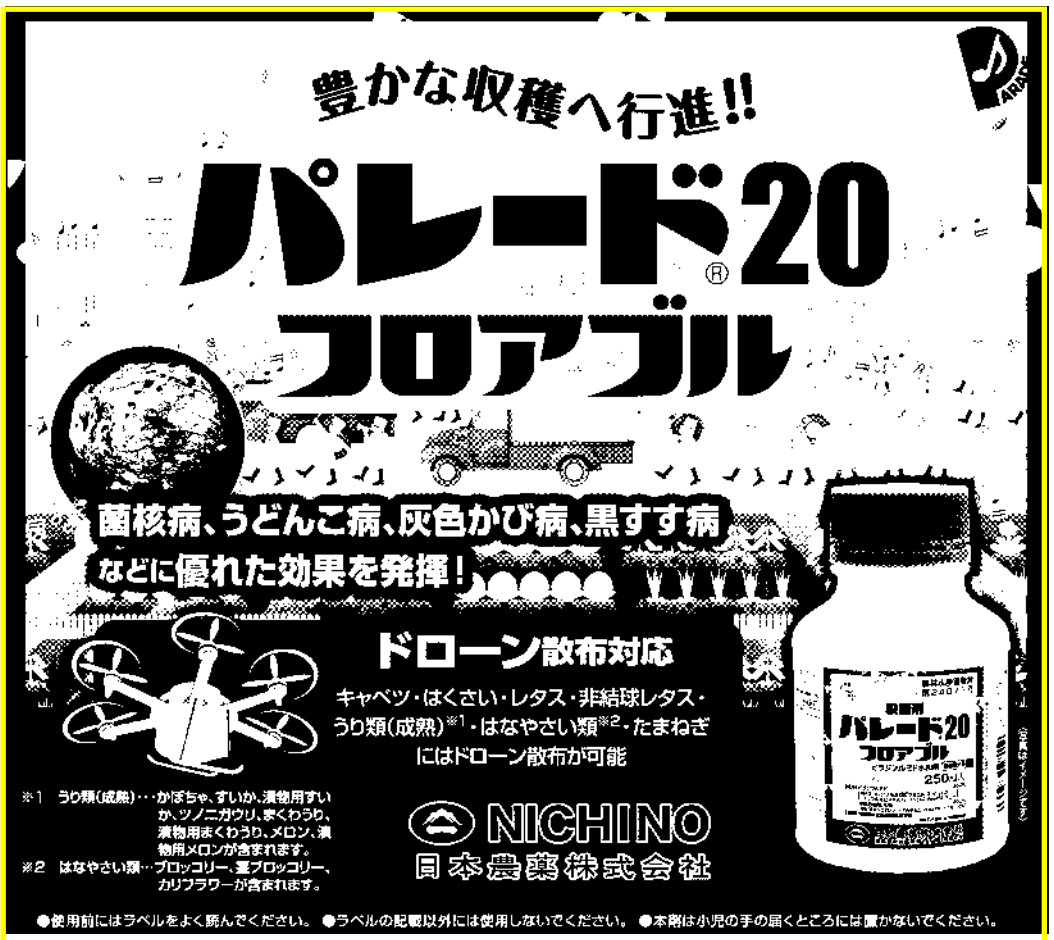
土壌伝染性の病害は、菌の感染によって発生する。主に糸状菌（カビ）や細菌、ピシウム属菌、フザリウム属菌、バーティシリウム属菌、菌核病菌など。細菌類では、青枯病、軟腐病などが挙げられる。土壌伝染性病害の発生圃場では、輪作や薬剤を用いた土壌消毒、太陽熱消毒、土壌還元消毒、抵抗性品種の利用など、さまざまな対策を組み合わせて、被害を一定以下に抑制することが重要である。

トマト葉に発生した灰色かび病

圃場巡回と罹病部位の除去

病害の発生を早期に察知　事前に入念な圃場巡回を

病害の対策においては、感染拡大以降の対策では手遅れになることが多く、予防的な対策が重要である。また、近年、さまざまな病害で薬剤耐性菌の発生が報告されており、薬剤散布のみに頼った防除がより困難になっている。したがって、特に地上部病害の場合は、発病しにくい環境を整えたうえで、病害の発生生態を知り、病害の発生を早期に察知することが重要である。また、雨天の前や潅水作業、防除作業などの病原菌の分生子などの拡散リスクが予見される場合は、事前に入念な圃場巡回を行い、可能な限り罹病部位などを除去し、圃場内の病原菌密度を下げることが重要である。



的確な防除で高品質な野菜

虫害

春夏期は気温上昇に伴う微小害虫（ハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類）の急増に注意が必要である。これらの害虫は化学農薬に対する抵抗性が発達している場合が多い。そのため化学農薬のみに依存した対策を行うのではなく、さまざまな手法を組み合わせた総合防除に取り組むことが重要である。

奈良県農業研究開発センター　環境科　主任研究員　藤森　颯太

害虫が発生しにくい環境づくり

資材は品目や栽培形態考え 導入する資材を組み合わせ

微小害虫の発生を助長しないために「適正な施肥管理」「適正な栽植密度」「摘葉・整枝の実施」により過繁茂防止に努めたい。なお、摘葉・整枝により生じた作物残さは圃場外で処分することで寄生している害虫を除去する効果も期待できる。

タバココナジラミ成虫

ミカンキイロアザミウマ

また、圃場内外の「雑草管理」や「健全苗の確保」を心がけることで、害虫の発生源となり得る要因の排除にも努めたい。

各種資材を活用した方法も一部紹介する。

アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類については「防虫ネット」の効果が期待できる。防虫ネットは0・4ミリ以下の目合いでの侵入抑制効果が高いが、ネットの内側の気温が上昇しやすいので注意が必要である。

アブラムシ類とアザミウマ類は「光反射資材」の活用も効果が期待できる。圃場に敷設するタイプや防虫ネットに織り込まれているタイプなどがあり、設置することで作物への飛来を低減する効果が期待できる。敷設タイプは防草効果もある。

ハダニ類については「UV－Bランプ」の活用が効果的である。ハダニ類は主に作物の葉裏に寄生しているため、光反射シートを敷設することで、さらに効果を高めることが可能である。

資材を活用した手法については、品目や栽培形態（露地か施設か）を考慮して、導入可能な資材を複数組み合わせることが望ましい。

環境づくり後の対策

異なる系統を交互に 薬液しっかりと付着

害虫が発生しにくい環境づくりをした上で、取り組む防除技術を紹介する。

まず、「微生物殺虫剤」の散布が考えられる。例として、昆虫病原性糸状菌（例＝ボーベリア・バシアーナ、バーティシリウム・レカニ）を利用した製剤がある。ただし、1週間程度の間隔で複数回散布が必要であり、散布後に高湿度の維持も必要であるなど、使用にあたってはいくつかの注意点がある。

ハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類については、「気門封鎖剤」の散布も有効である。害虫の気門（呼吸口）を物理的に塞ぐことで効果を発揮する資材である。薬剤が害虫に付着しないと効果がないので、摘葉・整枝後に散布するなど工夫する。

このほか「天敵」を活用する方法もある。露地では各種土着天敵に影響の少ない殺虫剤を選択することによって、圃場内への土着天敵の定着を可能にし、さらに天敵温存植物を圃場内に植栽して、土着天敵の誘引・定着・増殖促進を狙う方法や、施設では市販の天敵製剤を人為的に圃場内に導入する方法などがある。天敵は、地域・品目・作型などによって、利用の可否や効果的な使用法が異なる。

また、各種天敵への影響が小さい化学農薬の選択など、注意点も多いので、導入に際しては地域の指導機関に相談されたい。

「化学農薬」の使用も選択肢の一つに入る。ただし、冒頭に述べたとおり、微小害虫は化学農薬に対する抵抗性が発達している場合が多い。そのような状況でも、ある程度効果が期待できる薬剤の例として、ハダニ類はアシノナピル、アブラムシ類・コナジラミ類はピリフルキナゾン、アザミウマ類はフルキサメタミドなどが挙げられる。

いずれの剤でも地域により各種害虫の薬剤感受性は異なるので、防除薬剤の選択にあたっては、地域の指導機関に問い合わせ、最新の情報を入手するのが望ましい。

効果的な薬剤を長く使用していくためには、散布回数を必要最低限に抑え、作用機作の異なる系統のローテーションを心がける。併せて、効果をより高めるために、薬液を害虫がいる部位にしっかりと付着させることが重要である。

ナミハダニ黄緑型による被害

販売促進相談Q&A

広島・三次市
㈲平田観光農園
代表取締役社長　平田真一

農産物直売所の売り上げが伸びません

Q 農産物直売所を運営しています。パートを雇っていますが人件費が出ない日もあり、閉じてしまおうかと思うこともあります。

A 農産物直売所は販売も大切ですが、宣伝効果や新規顧客獲得という意味でも大切ですよね。できれば閉じたくはないものです。でも、一つ100円、200円の農産物で人件費を稼ぎ出すのは簡単ではありませんよね。

ヒントの一つとして、私が毎年楽しみにしている中川農園のトウモロコシ販売があります。販売は2週間限定の曜日限定で、朝6時から8時までの2時間のみ。朝収穫のおいしさが評判を呼び朝から大行列で、私の試算では毎日20万円以上売り上げます。よく行列のできるラーメン屋さんが、麺がなくなり次第終了という営業していますよね。時間を区切ることで、よりラーメンにありつくことが難しくなり、行列ができて、値段が高くても食べたい気持ちになるのです。短時間の営業なので人件費率を下げることができて、浮いた経費でよりおいしくするための食材にお金をかけることができるのです。

私たちの農園も働き方改革で平日の定休日を増やし、飲食店の夜の営業をやめて日中の営業時間も2時間短くしましたが、売り上げは落ちないばかりか利益は増えました。農産物直売所も一般的にオープンから昼過ぎは忙しいですが、そのあとは閑散としてきます。時間と人件費の効率について工夫してみましょう。

昔からある効率の良い販売方法の一つに、お昼時に会社の食堂にお邪魔します作戦があります。許可をとって多くの人が働く工場や官公庁、銀行などの食堂の出入り口で農産物を販売させていただく方法です。ほんの30分でいい売り上げになります。事前のPRが大切ですが、定期的に訪問することで、お客さまも楽しみに待っていてくれます。

午前中は農産物直売所で販売、お昼から食堂で移動販売なんていうのはどうでしょう。

◇次回は5月2日付

時間と人件費の効率について工夫してみよう

ゼミナール

クラウドファンディングに挑戦 ⑦

農業×クラウドファンディングの事例②

農業専門ライター
鈴木　雄人

やまのカタチのクラウドファンディングページ（Makuakeから引用）

SNSを活用しプロジェクトPR

今回、お話を伺ったのは、山形県東根市でサクランボや西洋梨、桃の栽培をしている㈱やまのカタチ（天野昂汰代表取締役）。2024年に初めてプロジェクトを立ち上げ、現在2回目のクラウドファンディングに挑戦中。1回目は500人を超える人に支援され、支援額は400万円を超えた。挑戦中であるプロジェクトは現時点で終了まで30日を残し、既に390万円が集まっているという。

プロジェクトの内容もシンプルで「次世代くだもの農家、初の予約販売！渾身のさくらんぼで『既存販売網』に立ち向かう！」と新規顧客獲得のための販路として利用。

天野さんいわく、「ふるさと納税など新たな販路が出てきたが、利用者が増加しライバルが多い現状。それらに近い仕組みがクラウドファンディングで、農家にとっても新たな販路の一つとなるのでは」と思い挑戦したという。

天野さんに2度のクラウドファンディングで盛り上げにつながった要因を尋ねると「SNSからプロジェクトへの流入による初速。そして、ページ制作においてはフォントひとつにしても、差別化を図れるようこだわった」と話す。

同社ではSNSに力を入れており、インスタグラムのフォロワー数は6・2万人（25年3月時点）。クラウドファンディング開始を報告した動画は1回目の時26・3万回、2回目13・2万回再生された。クラウドファンディング×SNSをうまく活用した事例である。

写真や文章などこだわったページ制作はもちろん、クラウドファンディング×SNS利用も参考になるので、ぜひ一度観覧してみてほしい。

女性が働きやすい職場環境へ

徳島・藍住町　カネイファーム

左24年度の「農山漁村女性活躍表彰」（農山漁村男女共同参画推進協議会主催）で優秀賞を受賞した矢野さん夫妻
右2回の産休・育休を取得した職業指導員の宮内由梨さん（37）。パートから正社員に登用された

医療の管理体制、水耕栽培に応用

産休・育休、時短勤務を導入

「女性は手先の細やかな作業が早く、正確にできます」――。水耕栽培で葉物野菜を生産、販売する徳島県藍住町の㈱カネイファーム（矢野正英代表取締役社長、48）は、女性を積極的に雇用。それとともに外国人技能実習生や就労継続支援事業所を利用する障がい者を受け入れる。性別や国籍などにかかわらず労働環境を整え、働きやすさを追求する。

同社は天候の影響を受けない衛生的な環境で生産できる水耕栽培に着目。年間を通じて葉菜類（フリルアイスレタス、サンチュなど）を県内6カ所に点在する鉄骨ハウス（敷地面積1万5千平方㍍）で生産する。JGAP認証を取得しており、栽培管理体制を徹底する。安全性が確保された農場をアピールすることで契約先の量販店から信頼が得られ、取引にも優位に働く。また、自社でパッキングセンターを持っており、包装、箱詰め、発送作業を効率的に行っている。

同社はもともと家族経営で、人手が必要な繁忙期にパートを短期雇用していた。経営規模を広げる際、労働力の確保が難しくなってきた。

そこで、結婚前は看護師をしていた矢野社長の妻の望美さん（43、同社取締役専務）が医療の管理体制を農業に応用。チームワークを重んじる女性を積極的に雇用することにした。

2013年に法人化。福利厚生を整備して、安心して働ける職場をめざした。望美さんの担う役割は大きい。人材の労務管理と商品の品質管理をデータ化し、スマートフォンで全体を把握できるようにした。社員は作業の進捗状況をiPadに入力し、データを共有できる。また、社内を4部門（ハウス生産部、レタス袋詰め部、発送管理部、ホウレンソウ部）に分け定植率や生育状況、廃棄率、責任者を明確にして見える化を進めた。

子育て世代が多い女性社員のため、産休や育休の導入とともに自由に休暇をとれる「家族休」制度を設けた。時間にゆとりがある創業時から勤務する主婦層のパートには、出来高制を導入している。また、短時間社員制を取り入れたため、子育てと仕事との両立が可能になり女性社員の定着率が上がった。これまで5人の女性社員が産休や育休を経て、職場復帰をしている。

現場仕切る女性リーダー育て

正社員への登用推進

外国人材もリーダーに

現場を任せられる女性リーダーの育成にも力を注いでいる。

社員に介護初任者研修や外部研修への参加を促し、パートを正社員やリーダー的な役職に登用、昇格させるなどキャリア形成に取り組む。望美さんは「当事者だけでなく他の社員の士気も高まる」と話す。

19年からは、外国人技能実習生を受け入れている。3年の技能実習を終え、特定技能1号に移行したベトナムの女性を生産部門のリーダーに起用、外国人材の存在感を高めている。

ハウス生産部門リーダーのヴォ　ゴック　ウエンニさん（25、右）とベトナムの技能実習生

望美さんは、サービス管理責任者の資格を取り、20年に障がい者就労継続支援事業所を開設した。現在、18人の障がい者を受け入れる。これまで8人が農業での一般就労を果たした。

また、近隣の就労継続支援事業所に農業のノウハウを提供するなど、農福連携を地域に広げる活動を続ける。

矢野社長は「本社は野菜を育てるとともに、人材を育てる」とにこやかに話す。営業に専念する時間が捻出でき、販路拡大につながっている。

新商品

3剤型をそろえた一発処理除草剤

クミアイ化学工業㈱（東京都台東区）はこのほど、水稲用の初・中期一発処理除草剤「イッセン」（1キロ粒剤、豆つぶ250、ジャンボ）＝写真＝を発売した。

同剤はピリミスルファンを一発剤として最大量配合し、多年生雑草のオモダカやシズイ、コウキヤガラ、クログワイ、キシュウスズメノヒエ、エゾノサヤヌカグサに対する効果を強化。ノビエの発生を長期間抑制し、3葉期までのノビエにも高い効果を示す。

ブロモブチドによりスルホニルウレア系除草剤（SU剤）抵抗性のホタルイに対しても有効。3剤型をそろえており、田植同時散布（1キロ粒剤）、ドローン散布（1キロ粒剤、豆つぶ）、ひしゃく（豆つぶ）などさまざまな散布器具に対応する。水口施用（豆つぶ）も可能。

〈問い合わせ〉☎03・3822・5036

話題

ファーマーズ&キッズフェスタに出展

井関農機㈱（愛媛県松山市）は、日本のプロ農業者が集い「子どもと農業をつなぐ架け橋」として都会の子どもたちに元気なニッポン農業を発信するイベント「ファーマーズ&キッズフェスタ」にブース出展した。

同ブースでは、同社のトラクタ、コンバイン、田植機などが展示され、体験乗車や大型トラクタを背景にした記念写真入りカレンダーを無料で配付した。

またゲームで農機の操作体験ができるファーミングシミュレーターを設置した＝写真。体験した子どもたちからは「本当に農機を運転しているみたいで、楽しかった」「今までも農業に興味があったが、次は本物の田植えをやってみたい」などの声があがった。

〈問い合わせ〉☎03・5604・7709

新商品

原料中の不良品を除く光選別機

㈱サタケ（広島県東広島市）は、プラスチックペレット専用に開発した光選別機「ペレットソーターⅡ」＝写真＝を発売した。

同機は、プラスチックペレット原料中に混入する黒点や着色粒などの不良品を除去する光選別機。1時間当たり最大3.0㌧の原料を処理することができる。供給された原料は幅600㍉のベルトで選別部まで搬送され、上下に搭載したカメラで原料を表裏からチェックする。良品・不良品を瞬時に判別し、不良品は高速エジェクタバルブからの圧縮空気で除去される。LED光源の採用など設計を見直し、透明や光沢のあるペレットの選別性能を大幅に向上。さらにカメラの分解能（認識できる細かさの限界）を従来機比2倍の0.03㍉に高め、微小の黒点や着色ペレットも高精度に選別する。

〈問い合わせ〉☎082・420・8549

農業技能実習評価試験のお知らせ

農業技能実習評価試験の合格は技能実習２号への必須要件

技能実習制度とは…

開発途上国などには、経済発展・産業振興の担い手となる人材の育成を行うために、先進国の進んだ技能・技術・知識を修得させようとするニーズがあります。
わが国では、このニーズに応えるため、諸外国の青壮年労働者を一定期間産業界に受け入れて、産業上の技能等を修得してもらう仕組みがあります。これが**「技能実習制度」**です。

農業技能実習評価試験（初級）の概要

対象職種・作業（2職種・6作業）

耕種農業｜「施設園芸（きのこ含む）」「畑作・野菜」「果樹（常緑・落葉）」
畜産農業｜「養豚」「養鶏」「酪農」

試験の方法

試験科目｜学科試験と実技試験を行います。
使用言語｜すべて日本語で行います。初級試験は、口語体ひらがな、分かち書きで、ヘボン式ローマ字を併記します。試験問題は読み上げます。
試験会場｜技能実習生の居住地等を勘案して決定します。

受験の申し込み

監理団体は、外国人技能実習機構を通して、申し込んでください。

受験料

15,400円（学科試験 5,100円、実技試験 10,300円）

合格者等の決定

受験者に対しては試験結果通知書、合格者に対しては農業技能実習評価試験合格証明書を交付します。不合格者から希望があり、当人の技能実習期間修了前であれば、再試験を1回だけ行います。

試験問題（初級）の概要

学科問題｜農作業における作物栽培・管理、畜産管理、安全衛生等について、初歩的な知識を有しているかを問います。
実技問題｜各種農作業について、安全の確保を図りつつ、一定時間内に正しい手順で確実にできることを求めます。

試験の対象は、**2職種（耕種農業、畜産農業）、6作業（施設園芸、畑作・野菜、果樹、養豚、養鶏、酪農）**です。

試験問題	耕種農業			畜産農業		
	施設園芸	畑作・野菜	果樹	養豚	養鶏（採卵鶏）	酪農
学科問題	（耕種・畜産共通）日本農業一般（日本の地理、日本の栽培作物・畜産）			（耕種・畜産共通）日本農業一般（日本の地理、日本の栽培作物・畜産）		
	耕種農業一般・安全衛生			畜産農業一般・安全衛生		
実技問題	1. 土壌の観察 2. 肥料の取扱 3. 環境管理 4. 資材・装置の取扱 5. 栽培に関する作業 6. 安全衛生	1. 土壌の観察 2. 肥料の取扱 3. 種子の取扱 4. 栽培に関する作業 5. 安全衛生	1. 土壌の観察 2. 肥料の取扱 3. 種子・苗木の取扱 4. 栽培に関する作業 5. 安全衛生	1. 個体の取扱 2. 個体の観察 3. 飼養管理 4. 安全衛生	1. 個体の取扱 2. 個体の観察 3. 飼養管理 4. 生産物の取扱 5. 安全衛生	1. 器具の取扱 2. 個体の観察 3. 飼養管理 4. 生産物の取扱 5. 安全衛生

問い合わせ先　一般社団法人 全国農業会議所 農業技能実習評価試験事務局
〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8　TEL:03-6910-1125　https://www.nca.or.jp/support/farmers/examination/

農業委員会ネットワーク通信

農地を活かし担い手を応援する

利用希望者の声受け 積極的に探索

所有者不明農地の有効活用へ

北海道 むかわ町農業委員会

2018年の農業経営基盤強化促進法などの一部改正において、農地法第41条では所有者不明農地の所有者の探索方法が明確になった。それとともに、確知できない所有者の〝みなし同意〟が制度化され、農地中間管理事業による所有者不明農地の貸借が容易になった。北海道むかわ町では、この制度変更を活かし、積極的に農地の貸借につなげている。

みなし同意制度を活用

探索しても不明の場合 公示経て機構に通知

18年以降、この仕組みを利用して農地の有効活用に結び付けた道内の市町村数は8市町で、延べ17件。そのうち半数の8件はむかわ町だ＝表。

太平洋に臨む、むかわ町。町名の由来となった1級河川「鵡川」に沿って農地が広がる。同町洋光地区では24年、農業者が高齢を理由に離農を決意。農地の売却意向を受けたむかわ町農業委員会（佐々木保成会長）が離農者の所有農地を調べたところ、隣接する遊休化した農地およそ20ヘクタールが「所有者不明」であることが判明した。この土地は明治時代に所有権が登記された後、一度も名義人が変わっていなかったという。

離農者からの農地購入を望む農業者の「この遊休農地も一体的に利用したい」という申し出を受けた農業委員会では、農地法に基づく「所有者の探索」を24年5月から開始。その結果、登記名義人の住所は町内で、農業委員会が戸籍などを取り扱う町民生活課から得たのは「住民票、住民票の除票ともに確認できない」という情報で、本籍地の特定に至らなかった。

このため、所有者の探索を終了し、11月から2カ月間「当該地が所有者不明である」旨を公示。この公示に対する所有者などからの申し出が無かったことから、農業委員会は農地中間管理機構に対して「所有者不明である」ことを通知した。

通知を受けた機構は、今年1月に、権利設定に関する裁定を道知事に申請。今月から10年間の賃貸が始まった。

所有者探索と並行して現地調査するむかわ町農業委員（同町農委会提供）

表 農地法第41条による所有者不明農地への利用権設定の状況
（2018年度以降、北海道内）
（単位：件、ha）

年度	市町村	件数	面積
2018	むかわ町	1	1.3
19	むかわ町	1	1.0
20	むかわ町	3	2.2
21	江別市	1	2.0
21	七飯町	1	2.1
22	むかわ町	1	2.5
23	深川市	1	7.3
	むかわ町	1	1.3
	下川町	1	2.5
24	芦別市	1	3.0
	むかわ町	1	0.2
	美瑛町	1	5.2
	旭川市	3	6.3
計		17	36.9

相続放棄で不明のケースも

町内では、23年度にも所有者不明農地に利用権が設定されている。同町田浦地区の7筆およそ1・3ヘクタールの農地は、貸借期間中の1993年に所有者が死亡。貸借期間が満了する後も「引き続き借りたい」という賃借人の意向があったが、所有者の相続人の全員が相続を放棄していた。所定の手続きを経て農業委員会は所有者不明と判断して、2018年から5年間の貸借を開始。その期間が満了した23年に、再び機構が利用権を設定した。

むかわ町農業委員会の東和博事務局長は「所有者探索における農業委員会の事務量は多いが、農地の遊休化の防止、担い手への集積のために、今後も取り組んでいく」としている。

STOP ストップ鳥獣害 446

知って防ごう野生鳥獣被害

北陸農政局開催の講座から ④

前回に続き、北陸農政局のオンライン講座「知って防ごう野生鳥獣被害」の主な内容を伝える。

◇

捕獲後はそのほとんどが埋設処理されているが、捕獲従事者にとって大変重労働であるため、焼却施設や減容化施設による処理が一部で行われている。減容化施設とは微生物の力で分解し、24時間から1週間程度で分解させる施設で、北陸地域では福井県大野市、石川県輪島市、珠洲市、穴水町で稼働している。

近年、埋設や焼却などの処理のほかに、捕獲した有害鳥獣を「森のごちそう」として活用するジビエが注目されている。ジビエとはフランス語で狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉で、10世紀頃に広まった。日本では貝塚から哺乳動物の骨が出土しており、その9割が鹿と猪とされている。江戸時代には、肉の色から猪は牡丹、鹿は紅葉などの俗称で肉鍋料理の専門店が生まれ、独自の肉食文化が育った。ジビエは最近のものではなく、このように古くから存在する。

栄養価高くヘルシーで注目

では、ジビエの食材としての魅力はどのようなところにあるのか。ジビエは野生鳥獣であるため一言で言うと「栄養価が高く、ヘルシーな食材」という特徴がある。100グラム当たりの猪肉と豚肉の栄養成分を比較すると、猪の鉄分は約4倍、貧血の予防や神経機能の維持に欠かせない栄養素であるビタミンB12は約3倍となっている。鹿肉と牛肉を比較すると、鹿肉のカロリーは半分、脂質は5分の1、鉄分は2倍。さらに、アミノ酸の一種であり脳機能向上や疲労、ストレス軽減などの効果があると報告されているアセチルカニンが2倍で、アスリートからも注目される食材となっている。

捕獲した個体の大部分は埋設や焼却処理され、食肉として利用されているのは1割程度。2023年度は、19年度よりもジビエ利用の頭数、ジビエ利用量ともに増加傾向にある。

これまで、農作物に被害を及ぼす有害鳥獣はマイナスの存在だった。しかし、ジビエを推進し、外食やペットフードなどに利用することで農山村地域の所得が向上するとともに、ジビエ活用のために積極的に捕獲され、農作物被害が低減されるといったプラスの働きが期待される。

この項はおわり

郷土食材レシピ

石澤清美の

【北海道】

（1人分283キロカロリー）

ユリ根の長芋グラタン

◆材料（4人分） 鶏胸肉350グラム、タマネギ小1個・ユリ根1玉各100グラム、長芋100グラム、豆乳100ミリリットル、みそ大さじ2、米粉・白ワイン・油各大さじ1、塩・胡椒（こしょう）各適量、ピザチーズ50グラム

◆作り方 ❶長芋はすりおろし、みそ、豆乳と滑らかに混ぜる。❷胸肉は一口大に切って塩・胡椒・米粉をまぶす。タマネギは粗いみじん切りにする。❸ユリ根は鱗片（へん）を1枚ずつはがす。茶色い部分はそぎ落とす。❹油を熱して②を炒め、肉の色が変わったら白ワインを振りかけ、ふたをして2分蒸し煮にする。❺ユリ根を加えてひと混ぜし、火を止めて①の半量を加えて混ぜ、耐熱皿に移す。残りの①を上からかけ、チーズを散らし、180度のオーブンで30分焼く。

◆献立のヒント 生チンゲンサイのサラダ

農委活動の道しるべ

プレーヤーがプランを考える

農村RMOの実践に学ぶ③

NPO法人いわて地域づくり支援センター 常務理事 若菜 千穂

毎回、私が出会ったきらりと光る農村RMOの事例を紹介しています。今回は岩手県遠野市土淵地区を紹介します。

土淵地区は柳田國男作の「遠野物語」が生まれた農村地域です。岩手県で最初の農村RMOモデルに選定され、2022年度から農村RMOに取り組み始めた地区です。その取り組み方法がとてもユニークで現実的なので、その方法を紹介します。

まず、22年度に土淵で「なんかやってみたい」「なんかやってくれそう」という人たちを土淵住民にかかわらず広く声をかけ、集まった30人のメンバーがそれぞれやりたいことを出し合いました。すると困るぐらいアイデアが出て、結果として18のプロジェクトが誕生しました。例えば閉校になった土淵中学校を活用してワンデイシェフ方式のレストランや高級メロン栽培、炭窯づくりなど現実的なものから夢あふれるものまで個性豊かな「やりたいこと」が集まりました。

そしてやりたいと言った人たちがそれぞれに取り組み、市内の「NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク」が事務局として、参加する人たちがとにかく楽しく活動できるようにとサポートしながら、緩やかにつなげる、というやり方で活動を進めました。

地域の盛り上げ方はもっと自由であっていい

当然失敗するものもあったようで、作ったことのない高級メロンは1年目は全然おいしくない。でも、「あのうまくないメロンを作った人たち」と農村RMO活動が有名になったとか。取り組んでみると想定外の副作用が発生し、活動がどんどん成長していき、3年目には18あったプロジェクトが融合して九つのプロジェクトになり、3年目が終わるころには七～八つは自走可能なレベルになりました。

「プレーヤーがプランを考えるべき」というのは仕掛け人のひとりでもあるNPO法人の理事長の言葉です。また、場所は土淵だけれども、活動する人たちは遠野市内外から土淵にやってきて盛り上げています。地域の盛り上げ方はもっと自由でいいんだと目からうろこを感じた事例でした。

農地の法律相談

監修●弁護士 井上 龍子（渥美坂井法律事務所・外国法共同事業）

相続した賃借農地の返還

返還には農地法上の手続きや原状回復が必要

Q 先日、父が亡くなりました。父は生前、農地を賃借して農業を行っていたのですが、相続人の私と母は、この農地を耕作することができないので、地主に返還したいと考えています。賃借農地の返還にあたって、農地法上の手続きなど留意すべきことがあれば教えてください。

A 借入農地を返還したい場合には、農地所有者にその旨を申し出て、その合意を得た上で返還するのが通常と考えます。

この場合、農地法では農地の賃貸借契約の合意解約には、原則として知事の許可を受けなければならないとされています（農地法18条1項）。

ただし、この合意解約が、農地の引き渡し期限前6カ月以内に成立した合意で、その旨が書面で明らかであるものに基づいて行われる場合には、知事の許可を受けずに解約をすることができるとされています（同項2号）。なお、これにより、知事の許可を受けずに合意解約をした場合は、合意解約をした日の翌日から起算して30日以内に、当事者双方が連署して、農業委員会にその旨を通知する必要がありますので留意してください（同条6項、同法施行規則68条）。

また、農地に限らず、①賃借人は、賃借物を受け取った後にこれに生じた損傷（通常の使用収益によって生じた賃借物の損耗などを除く）がある場合において、賃貸借が終了したときは、その損傷を原状に復する義務を負う（民法621条）②賃借人は、借用物を受け取った後にこれに附属させた物がある場合において、貸借が終了したときは、その附属させた物を収去する義務を負う（民法622条）――とされています。

ご相談の内容では、現在の農地の状況は不明ですが、もしハウスなどを建てて営農されていた場合などは、相続人に借入時の状況に復する義務が生じますので留意してください。

このため、農地所有者に対して返還する旨を申し出る際には、あらかじめ契約内容を確認の上、農地法の手続きへの協力などについて、ご相談・ご確認をされてはいかがでしょうか。◇次回は5月2日付

WEBであなたの農業を広げませんか

全国農業新聞からのお知らせ

「オンライン講座」

受講者募集中

スタディあぐり

本紙の一定期間の購読者は無料！

「スタディあぐり」は、あらゆる「農業者」を対象にした学びの場です。
その道の専門家が動画で優しく解説します。

スタディ農業簿記
スタディ青色申告
（全16講座・21回分）

講座内容
「農業簿記」「青色申告」の解説と実践演習

申込：受付中 注文動画配信：配信中

申込から視聴までの流れ
①専用サイトから申込手続
②担当窓口に申込通知到着
③申込内容を確認し登録メールに動画URLを送付
④受講

詳細・お申込みは全国農業新聞HPへ
全国農業新聞 検索
検索またはQRコードにて

(1)受講方式
収録動画をインターネットで視聴

(2)講座回数
全16講座（21回分にして放送）
※注文記号A～Uごとに申し込みをお願いいたします。

(3)講習時間
各回10～50分間

(4)テキスト
●「複式農業簿記実践テキスト」（全国農業図書 R04-26）
●「複式農業簿記実践演習帳」（全国農業図書 R03-08）
●「よくわかる農家の青色申告 令和6年度版」（全国農業図書 R06-22）

(5)受講料
A～Uの1注文記号当たり＝4,000円
1パック（3注文記号当たり）＝9,000円
※個別注文の25%割引
全国農業新聞の一定期間の購読者＝無料

本紙を一定期間購読している方とは、講座のお申し込み時点で1年以上継続して購読している方、または1年以上の定期購読を新規に申し込まれた方です。

お問い合わせ 一般社団法人全国農業会議所 新聞業務部 電話:03-6910-1130（平日9:00～17:00、土・日・祝日は休み） メール:study-agri@nca.or.jp
お申し込み https://www.nca.or.jp/shinbun/ 全国農業新聞 検索

仙台生ゴミリサイクルネットワーク

落ち葉、生ごみ 地域で堆肥に

活動始め25年、今後は食育も

【宮城】仙台市太白区のひより台団地にある「仙台生ゴミリサイクルネットワーク」では、街路樹の落ち葉と生ごみを活用した堆肥化の取り組みを続けて、2024年に25周年を迎えた。

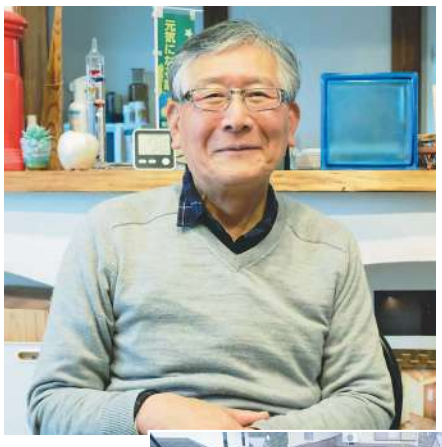
「杜の都仙台なのに落ち葉を焼却処分するのか」という声をきっかけに活動が始まり、有志によって1999年4月に設立された。

活動内容は、堆肥化の実験を行うほか、仙台市の委託を受けて、生ごみリサイクルの講師や、町内会・サークルへの出前講座を行っている。

同会事務局長の徳田実さん（70）は「当初は生ごみがうまく発酵せず、悪臭が発生した。試行錯誤して作った腐葉土を混ぜることで、安定して堆肥化できるようになった」と振り返る。

堆肥化に必要な落ち葉は市内にフレコンを設置して回収している。ある日、住民から落ち葉の回収に協力したいと申し出を受けた徳田さんは「回収に苦労はあるが、われわれの活動が認知されたと感じた」と振り返る。

「会員も40人となり、子育て世代や学校の先生、留学生など幅広い。今後は堆肥づくりから野菜の生育・収穫まで体験できる食育活動をしてみたい」と語る。



上徳田さん、右落ち葉堆積場。「回収量はフレコン約80本。昨年10月ごろに積み上げた落ち葉がEM菌の働きで分解が進み、かなりかさが減った」という徳田さん

農業の維持・発展へ

大館市 地域計画を策定

【秋田】大館市の地域計画は、市内を6地区に分け、各地区の課題の洗い出しと将来の地域農業の在り方について、農業者、農地所有者、地域住民、関係機関が一体となり話し合い、今年3月に策定された。

農業委員会では、現況地図の作成を担い、24年3月に農地利用に関するアンケートを農地所有者7970人に送付。同年6月末までに約35%の回答があった。これを基に現況地図を作成し、市農政課とともに、地域計画策定に向けた説明会を延べ19回、目標地図に関する座談会を延べ36回実施した。

地域計画案の説明と確認（田代地区）

座談会では「農地に対して耕作者が少なくなっている」「農業機械の値段が高く小規模農家が機械の更新ができなくなっている」「中山間地の農地は、野生鳥獣の出没が増え農業被害も増えている」「現在、耕作している面積を現状維持することで精いっぱい」――など、さまざまな課題が見えてきた。

課題が山積している状況を地域計画に落とし込み、地域の農業の維持・発展のため、地域の農業者、農地所有者、地域住民、関係機関が一体となって解決に向けて取り組むことが重要となる。農業委員会では、農地の確保と有効利用、農地などの利用の最適化、担い手の育成・確保など、地域の課題を解決するため取り組んでいく。

（大館市農業委員会・工藤学情報員）

複合経営のノウハウ学ぶ

青森県農業法人協会 先進事例の経営セミナー

【青森】県農業法人協会（金子春雄会長）は3月7日、県農業法人協会青年部（竹ケ原直大会長）と合同で経営セミナーを開き、法人経営者ら50人が出席した。

講師は、㈱西部開発農産の照井勝也代表取締役社長。同社は、岩手県北上市で水稲、大豆、小麦、畑作などおよそ1100㌶に加え、和牛の肥育・繁殖、焼き肉店経営など大規模経営の法人で、照井社長は岩手県農業法人協会の会長も務め

自社の取り組みについて説明する照井社長

ている。

セミナーでは、同社の取り組みとして、耕作条件が良くない中山間地帯での傾斜合筆を積極的に行い、集約化を進めていることや、100人ほどの従業員の労務管理やスキルアップに関すること、年間休日を他産業並みに増やす働き方改革など、経営改善にまつわる企業努力について説明した。

参加者は、自らの経営に生かすため、熱心に聞き入った。

朝日町 あさひ里親農家の会

農業経営、生活改善へ

「お金」を学ぶワークショップ

【山形】農業研修生と新規就農者の早期自立を支援する「あさひ里親農家の会」（崔鍾八会長）では、新規就農者と里親農家の営農知識向上や親睦を深めるための講習会「りんごの郷みらい塾」を定期的に開催している。

本年度2回目の講習会が「農業経営を学ぶ」をテーマに2月14日に開かれ、経営計画の重要性や損益分岐点の考え方、運転・設備投資などに係る農業制度資金などを学んだ。

その後のワークショップでは「子どもの大学進学に向け、家庭全体で5年後の貯蓄目標を達成するには」をテーマに農業経営改善と生活費改善の視点から具体的な事例を学習した＝写真。

参加した生産者からは「経営についてお金の流れは感覚的に理解していたが、数値を通して注視したことがなく、自分の経営を見直す良いきっかけになった」などの声が聞かれた。

同会では、収支計画を基本とした「儲かる農業」を生産者自らが実行することで収益が上がり、それが後継者不足解決の一助になることを期待している。

（朝日町農業委員会・鈴木貴典通信員）

13年連続で目標を達成

北海道米の食率

【北海道】道内の米消費量全体に占める北海道米の割合を示す「道内食率」。令和6米穀年度（2023年11月～24年10月）の道内食率が88%だったことを、北海道が推計して発表した。令和5米穀年度と同じ割合だった。道や関係組織でつくる「北海道米食率向上戦略会議」が定める目標値85%を13年連続で達成した。

道内の米消費量はおよそ27万3千㌧で、そのうち道産米は24万㌧（いずれも玄米）だった。それぞれ前の年度から1・2%減っていた。人口と1人当たりの年間米消費量も減り続けている。

（一財）日本穀物検定協会による令和6年産米の食味ランキングでは、いずれも北海道米の「ななつぼし」が15年連続、「ゆめぴりか」が14年連続で最高ランクの「特A」を獲得し、高い評価を得ている。23年（令和5）の道内におけるうるち米の作付面積では、ななつぼしが全体のおよそ46%、ゆめぴりかが26%を占めていた。

戦略会議を運営する道農産振興課のコメント

「生産者の方々をはじめ、関係機関・団体の皆さまのたゆまぬご尽力の成果であり、うれしく思うとともに、北海道米をご愛顧いただいている道内の消費者の皆さまにも感謝申し上げる。道では、今後も皆さまにおいしい北海道米をお届けできるよう支援していく」

凍霜害の未然防止対策決定

福島県農業団体災害対策本部

【福島】県農業会議や農福島、NOSAI福島、JA全農福島中央会、JA全農福島、NOSAI福島など県内11の農業団体で構成する福島県農業団体災害対策本部（事務局＝県農業会議）はこのほど、今春の凍霜害の未然防止に向けた対策を決めた。

3月19日から5月31日を「防霜対策強調期間」に設定し、固形燃料や燃料機材の確保、各農業団体からの組合員などに対する注意喚起をはじめ、ポスターやチラシの配布、ラジオ放送などによる啓発、気象情報の把握や連絡調整など、徹底した対応を図る。

福島地方気象台の発表によると、4月・5月の福島の気温は平年と比較して高いと予想されているが、数日の周期で天気が変わるともされており、晴れの日の放射冷却による冷え込みには十分な注意が必要だ。

左から矢口雅浩県農業共済組合事務理事、鈴木理県農業会議代表理事会長、管野啓二県農業協同組合中央会代表理事会長、数又清市副会長理事、全農福島渡部俊男本部長

東北・北海道

出店した若手農業者ら

岩手県内の若手農業者

顔が見える販売でつながり

盛岡市でファーマーズマーケット

【岩手】県内の若手農業者6人が、盛岡市中心部の商業施設「monaka（モナカ）」で3月20日～23日の4日間、農産物や加工品を販売するファーマーズマーケットを開催し、連日多くのお客さんでにぎわった。

ファーマーズマーケットは、商品を直接消費者にPRすることや、同施設周辺の飲食店とのつながりを作る機会にしようと企画されたもの。

今回、参加したのは工房ひかりの工藤恵さん、㈲サンファームの吉田聡さん、㈲ファーム菅久の菅原紋子さん、雫石町の髙橋瑠奈さん、㈱耕野の安藤誠一さん、㈲ハッピーヒルファームの千葉雄大さんの6人。日替わりで、リンゴ、モチ米、ネギ、ベビーリーフ、アイスクリームや、同施設周辺のレストランが作った出店者の野菜を使用したお弁当などが店先に並び、お客さんは、出店者と会話しながら買い物を楽しんでいた。

企画した工藤さんは「生産者の顔が見える場所として、今後もこのような催しを通して、消費者や飲食店とのつながりが持てれば」と今後の開催について意欲をみせた。

北海道・東北総局
宮城県農業会議
仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
県仙台合同庁舎9階
022・275・9164

北海道支局 011・281・6761
秋田県支局 018・860・3540
青森県支局 017・774・8580
山形県支局 023・622・8716
岩手県支局 019・626・8545
福島県支局 024・524・1201

広告

ポカポカ ぐっすり♪ 朝 シャッキリ!!

"夜間頻度"がピタッと!?

夜に何度も目が覚めては個室を往復……。熟睡できないからいつも寝不足で翌朝なんだかダル重い。そんなつらいお悩みを抱えて日々を送ってはいませんか？ そんな方にとっておきのリアル体験談をお届けいたします。

ヒンヤリつめた～い 真夜中に……何度も目が覚め ソワソワ キレが悪い

愛知県 杉本 康代さん（82歳）

超実感！ ぐったりな毎日にさようなら～♪

夜中に何度も目が覚める……。年だからしょうがない？

「60代までは本当になんの心配もなく過ごせたんですが、70歳を過ぎたあたりから夜の頻度が少しずつ増えてきちゃったの。年だからまぁしょうがないかと対策はせずに諦めていましたが、たまたま『マカリズム』を飲んだ人の体験談を見て、私の悩みにピタッとよさそうだったから早速注文して頻度の悩みに取り組むことにしたのよ」

回数もピタッと

「私の場合、夜は3回くらい行っていたかな。早く寝ると、その分頻度も増えるから普段はだいたい23時に寝て朝の5時くらいに起きるんだけど。約2時間に1回のペースで行ってた計算ね。しょうがないけど、やっぱり困りますよね。それが『マカリズム』を飲み始めたら、ピタッと頻度が減ったの！ それにそれだけじゃないんだよね。体験談を読んだ時も夜間頻度の悩み以外にもいろいろ期待できるのね～と思ったけど、実際他の変化も感じたんです。足元が冷たいな～ちゅうことがあったけど、今はそれがないのよね。きっとこのヒエヒエにもいいんじゃないかな。1日2粒で嬉しい発見がいくつもあるので、これからの更なる変化に期待してずっと飲み続けようと思っていますよ」

1日2粒でこんなに変わる!?

広島県 橋爪 敏子さん（87歳）

「広告で『マカリズム』を見つけて飲み始めたんですけど私はヒンヤリを強く強じて、夏でも靴下2枚重ね履きするくらい足元がいっつも冷たかったんです。でも1日2粒飲んでいるうちに『あれ～？ 最近、ポカポカするなぁ』って！ 足元から、あったかーい感じが上がってきて今では素足でも大丈夫になったんです。もともと『マカリズム』を始めた理由は夜に何度も目が覚めて個室に行くことが多かったから。夜だけでも3回は行っていました。でも私の場合、最近は夜間頻度が3回から1回になったんです！ 夜もぐっすりと眠れるからもう寝すぎちゃうくらいなんですよ（笑）」

◎ご年齢は取材当時のものです。◎個人の感想であり体感には個人差があります。

疲れを翌日に持ち越さない!!

その理由は "熟成発酵 黒マカ" 本場ペルーの高品質なマカのみを使用!

*「J.M.McCord及びI.Fridovichが定義した単位［J.Biol.Chem.,244 6049（1969）］に相当するSOD消去活性能として」（ともに日本食品分析センター調べ）

贅沢配合!! 中からポカポカに

金時ショウガ末　ヒハツ抽出物　黒胡椒抽出物

熟成黒マカ マカリズム

●内容量：62粒（約1ヵ月分）
※1日2粒目安に飲むだけ
通常価格 3,240円(税込) 540円お得!
ボーナスコース価格 2,700円(税込)
［送料別途500円］2袋以上で 送料無料!
●ボーナスコースとは、毎月、あるいは2ヵ月に1回、ご利用ペースに合わせて定期的にお届けするサービスです。ご注文の際、「毎月」または「2ヵ月ごと」のどちらかからお選びください。●コースの内容変更やお届けの先延ばし、解約、休止も可能です。納品書に記載されている次回お届け予定日1週間前までに、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

《初回限定・一世帯につき一回限り》 ボーナスコース特典! 全額返金保証
万一お体に合わない場合、商品代金を全額返金いたします（定期ボーナスコースにて2点以上お求めの方限定）。ご希望の際は、商品到着後1ヵ月以内に下記フリーダイヤルまでご一報の上、商品容器をご返品ください。送料はお客様ご負担にてお願いいたします。

「1日中パワフルに元気でいたい!」方は今スグ!
0120-328-328 受付時間 午前8時～午後9時 年中無休
お客様のご希望とご予算に合わせて、その他様々な商品もご案内いたします。
0120-201-061 受付時間 24時間 年中無休
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 株式会社 フレージュ「全国農業新聞」係
インターネット https://www.fraijeu.com/
ハガキ・FAXでお申し込みの場合は、下の必要事項を記入して投函してください。
●［送料］全国一律500円。2点以上で送料無料。［お支払方法］①振込用紙（コンビニ払いまたは郵便振替）※到着1週間以内。②代金引換（現金またはクレジットカード、デビットカード）※別途料。ただし、3点以上ご購入の場合は、代金引換またはクレジットカード自動決済（初回のみ）●ご注文詳細を確認後、翌営業日に発送いたします（土曜・日曜・祝日は休業日です）。●お届けはポスト投函になります。●商品は本商品に限り返品・返金後8日以内。返送料はご負担願います。●個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページをご覧ください。
切手 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 (株)フレージュ「全国農業新聞」係
①商品名 ②数量 ③「毎月」または「2ヵ月に1回」※ ④郵便番号 ⑤住所（フリガナ） ⑥氏名（フリガナ） ⑦生年月日 ⑧電話番号 ⑨ご負の新聞名
※ボーナスコースの場合

鹿肉を犬用ジャーキーに

脱サラ移住した鹿ハンター

飯能市 遠藤拓耶さん 「命をいただく」伝える

加工・販売している犬用ジャーキーを手に遠藤さん

【埼玉】飯能市でカフェを営む遠藤拓耶さん（39）は、他県から移住後、脱サラした鹿ハンターだ。

移住支援制度を活用して、自然豊かな同市に移った遠藤さん。地域の行事に積極的に参加し、温かく受け入れてもらった。「獣害に困っている」という農家たちの声を聞き、遠藤さんはワナ猟の資格を取得して獣害対策の活動を始めた。捕獲された鹿の多くが廃棄される現実も知り、命を生かすため、自ら駆除した鹿を加工・販売するプロジェクトを立ち上げた。

取り組みの一つが、犬用ジャーキーへの加工・販売だ。保存料不使用が好評で即完売となる。当初は夫婦で作っていたが、現在は地域の就労支援施設に委託し、福祉にも貢献する。

2023年にはジビエ加工所を開設。まだ供給量は少ないが、随所に独自の手法を取り入れ、品質にこだわる。遠藤さんは「おいしいジビエ料理を提供することで興味を持ってほしい」と話す。

小学校でも講師を務める遠藤さん。枝肉の解体を実演し、子どもに「命をいただく」意味を伝える。「将来の世代が、共存を考えるきっかけになれば」と希望を持つ。

地域への恩返しと、野生動物の命をつなぐことをめざして、遠藤さんは奔走する。

黒毛和牛、家族で一貫経営

韮崎市 猪股重教さん

牛の体調管理し甲州牛を安定出荷

左から重教さん、都さん、重幸さん

【山梨】韮崎市穂坂町の猪股重教さん（78）は、息子の重幸さん（52）と重幸さんの妻・都さん（52）の家族3人で黒毛和牛を一貫経営。繁殖牛約40頭、肥育牛約75頭を飼育している。

同町は県内有数のブドウ産地で、猪股さんも当初はブドウの専業農家だった。1979年に土作りに必要な堆肥を自作するため、乳雄を飼育したのが畜産農家となったきっかけだという。

2006年から黒毛和牛を飼育し、畜産をメインにした複合経営がスタート。現在は年間35頭を目標に、同県で育てられたA4ランク以上の黒毛和牛だけが名乗ることのできる「甲州牛」を安定的に出荷している。また、牛の体調も管理できるよう、牛が倒れて足をばたばたさせると携帯に知らせるシステムをいち早く導入した。昨年4月から重幸さんも本格的に経営に加わり、技術の継承も行っている。

重教さんは「今後も家族と共に、安定して質の良い甲州牛を出荷していきたい」と語る。

若手会員が漬物業界と交流

茨城県農業法人協会 安全対策で意見交換

漬物工場を視察する会員たち

【茨城】茨城県農業法人協会の次世代を担う会員や後継者で組織する「次世代ネットワーク」（栗原玄樹代表）はこのほど、漬物業界との交流を深めようと、鉾田市の今泉食品㈱の漬物工場と茨城町の㈲アクト農場で現地研修会を開いた。

漬物工場では防疫服に着替え、工場内を視察。製造工程では商品への異物混入などを防ぐため、下漬け前に野菜を手洗い・洗浄機・手洗いと3度も洗浄を繰り返し、目視確認を徹底している。できあがった商品はガス抜き加工されたパックに詰め、賞味期限を明記し、金属探知機を通して最後に目視で検査。幾重もの安全対策を実施して出荷することを学んだ。

同社の今泉卓矢相談役は「主原料のハクサイ、ダイコン、キュウリはすべて国産。実際に畑へ足を運び、農家と直接話をするなど、品質重視で野菜を厳選している。その季節に一番おいしい野菜を産地リレーをしながら仕入れている」と説明した。

その後、アクト農場に移動し、同社を視察。ネットワーク会員と漬物業界会員からは、お互いの生産規模やこれからの経営方針など活発な質問や意見交換が行われ、今後の連携を模索した。

先進的な農業経営を表彰

〈 栃木県農業大賞 〉

Kuni'Sファームと美土里農園が大賞

農業大賞を受賞したKuni'sファームの前原邦宏さん

【栃木】県などはこのほど、先進的な農業経営や農村振興に取り組む農業者や団体を表彰する第6回栃木県農業大賞の表彰式を宇都宮市で開いた。大賞には、上三川町の㈱Kuni'sファームと茂木町の㈱美土里農園が選ばれた。

Kuni'sファームは、肉用牛のオリジナルブランド「とちおとめ牛」を確立し、有利販売を実現しただけでなく、地域農業の担い手として農地の維持保全や若手の従業員を積極的に雇用し、後継者の育成にも取り組んでいる点が評価された。

美土里農園は、遊休農地の解消や観光農園の運営など、地域農業の発展に貢献した点が評価された。

同大賞では県内20の農業者や団体が各賞に選ばれ、表彰状が贈られた。

神奈川県農業の発展へ

横浜市で法人セミナー

農業会議・法人協会

【神奈川】神奈川県農業会議と神奈川県農業法人協会は3月10日、横浜市の波止場会館で2024年度かながわ農業法人セミナーを開き、県内の農業法人代表者や認定農業者、関係機関職員ら約50人が出席した。

セミナーでは「かながわ農業の発展に向けた農業法人経営者の取り組み」をテーマに、県農業法人協会の彦坂誠会長と永田誠副会長がそれぞれの農業経営について発表した。

出席者からの意見に回答する彦坂会長

参加者からは「市街化調整区域における直売所や駐車場建設に係る関係法令のハードルを下げてほしい」などの意見が出された。同法人協会も共通認識を持っており、関係機関へ要望していきたいと回答した。

市農業の振興めざし

三浦半島を現地研究

羽村市農業委員会

【東京】羽村市農業委員会（石田正弘会長）はこのほど、神奈川県三浦市などを2日間にわたり現地研究した。

1日目は三浦市でブランド野菜の「三浦かぶ」を生産する㈱ピーカブーを訪れ、出荷作業を農福連携で外部委託するほか、スーパーとの直接取引で固定価格を実現、安定した法人経営を行う手法を研究した。

ピーカブー代表の石井亮さん（右）から話を聞く委員ら

2日目は神奈川県農業技術センター三浦半島地区事務所を訪れ、ダイコンやキャベツなどの特産野菜生産の先進技術を学んだ。

石田会長は「得られた知見を羽村市の農業振興施策や農業委員会活動に反映させ、地域農業の活性化と持続可能な農業経営の実現に向けた取り組みを推進していきたい」と話す。

同農業委員会では都市農地の貸借を推進しており、限られた農地を活用して経営基盤の安定化と農地保全を進めている。

女性委員連携強化へ

先進経営学ぶ研修会

千葉県

【千葉】県は、女性農業委員・農地利用最適化推進委員の連携により委員会活動を強化し、農業・農村の振興に寄与するため、県内5ブロックで研修会を開いている。

山武・海匝地区の研修会が2月19日、大網白里市で開かれ、23人がフタバロジック（桑田健二代表・ネギ栽培）とちあきのいちご園（相田隆志代表）を訪ねた。

フタバロジックでは、同市の特産物である煮干しを使った土作りや会社経営で工夫している点などについて桑田代表から説明を受けた後、ネギの集荷作業を見学した。

ちあきのいちご園では、相田代表と妻の千晶（ちあき）さんから、この地に落ち着いて開園するまでの経緯や、来園者に楽しんでもらえる独自の取り組み、今後の展望などについて説明を受けた後、イチゴ狩りとオリジナルパフェ作りを体験した。

（大網白里市農業委員会）

関東

いきいき農業者 ㊲

長野原町 渡一彦さん

地域のつながり、伝統大事に

米・花き・野菜を栽培、漬物が絶品

【群馬】長野原町の渡一彦さん（68）＝写真＝は、利根川の支流の吾妻川に造られた「八ッ場ダム」近くで農業を営んでいる。吾妻川には国指定名勝の吾妻峡もあり、自然豊かな地域で米やトルコギキョウなどを栽培している。

渡さんが30歳のころに父親が亡くなったため、鉄道会社勤務との兼業で米の栽培を始めた。仕事が24時間勤務だったこともあり、限られた時間の中で農業をしなければならなかった。師となる父親がいないことで「おやじがいる人はいいな」と思ったこともあるという。しかし、まわりにいる農業の先輩たちに片っ端から質問して農業の知識を身に付け、今では周りから頼りになる存在となっている。

2006年からはトルコギキョウの栽培を始め、地元農家と共に設立したはやし園芸㈱でネギやサツマイモなどを栽培。サツマイモは乾燥芋に加工し、道の駅で販売している。

地域のつながりと伝統を大事にしている渡さんは、特製の漬物を振る舞ったり、地区の神社で行われるお祭りなどにも積極的に参加し、境内で行われる「だんご相撲」では行司を務めている。渡さんが作る漬物は絶品で、毎年完成を心待ちにするファンもいるほど。農業だけでなく地域も大事にする渡さんは魅力にあふれている。

関東総局
神奈川県農業会議

横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル10階
045・201・0895

茨城支局 029・301・1236
栃木支局 028・648・7270
群馬支局 027・280・6171
埼玉支局 048・829・3481
千葉支局 043・223・4480
東京支局 03・3370・7145
山梨支局 055・228・6811

広告

ポカポカ ぐっすり 朝 シャッキリ!!

"夜間頻度"がピタッと!?

夜に何度も目が覚めては個室を往復……。熟睡できないからいつも寝不足で翌朝なんだかダル重い。そんなつらいお悩みを抱えて日々を送ってはいませんか？ そんな方にとっておきのリアル体験談をお届けいたします。

愛知県 杉本 康代さん（82歳）

超実感！ ぐったりな毎日にさようなら～♪

ヒンヤリつめた～い 真夜中に……何度も目が覚め ソワソワ キレが悪い

夜中に何度も目が覚める……。年だからしょうがない？

「60代までは本当になんの心配もなく過ごせたんですが、70歳を過ぎたあたりから夜の頻度が少しずつ増えてきちゃったの。年だからまぁしょうがないかと対策はせずに諦めていましたが、たまたま『マカリズム』を飲んだ人の体験談を見て、私の悩みによさそうだったから早速注文して頻度の悩みに取り組むことにしたのよ」

回数もヒエヒエもピタッと

「私の場合、夜は3回くらい行っていたかな。早く寝ると、その分頻度も増えるから普段はだいたい23時に寝て朝の5時くらいに起きるんだけど。約2時間に1回のペースで行ってた計算ね。しょうがないけど、やっぱり困りますよね。それが『マカリズム』を飲み始めたら、ピタッと頻度が減ったの！ それにそれだけじゃないんだよね。体験談を読んだ時も夜間頻度の悩み以外にもいろいろ期待できるのね～と思ったけど、実際他の変化も感じたんです。足元が冷たいな～ちゅうことがあったけど、今はそれがないのよね。きっとこのヒエヒエにもいいんじゃないかな。1日2粒で嬉しい発見がいくつもあるので、これからの更なる変化に期待してずっと飲み続けようと思っていますよ」

広島県 橋奥 敏子さん（87歳）

1日2粒 でこんなに変わる!?

「広告で『マカリズム』を見つけて飲み始めたんですけど私はヒンヤリを強く強じて、夏でも靴下2枚重ね履きするくらい足元がいつも冷たかったんです。でも1日2粒飲んでいるうちに『あれ～？ 最近、ポカポカするなぁ』って！ 足元から、あったかーい感じが上がってきて今では素足でも大丈夫になったんです。もともと『マカリズム』を始めた理由は夜に何度も目が覚めて個室に行くことが多かったから。夜だけでも3回は行っていました。でも私の場合、最近は夜間頻度が3回から1回になったんです！ 夜もぐっすりと眠れるからもう寝すぎちゃうくらいなんですよ（笑）」

◎ご年齢は取材当時のものです。◎個人の感想であり体感には個人差があります。

疲れを翌日に持ち越さない!!

その理由は "熟成発酵 黒マカ"

本場ペルーの高品質なマカのみを使用!

*「J.M.McCord及びI.Fridovichが定義した単位[J.Biol.Chem.,244(6049)(1969)]に相当するSOD消去活性能として」（ともに日本食品分析センター調べ）

贅沢配合!! 中からポカポカに

金時ショウガ末　ヒハツ抽出物　黒胡椒抽出物

熟成黒マカ マカリズム

信頼の有機JASマカ

◎1日2粒目安に飲むだけ

●内容量：62粒（約1カ月分）

通常価格 3,240円(税込)

540円お得!

ボーナスコース価格 2,700円(税込)

［送料別途500円］2袋以上で 送料無料!

●ボーナスコースとは、毎月、あるいは2カ月に1回、ご利用ペースに合わせて定期的にお届けするサービスです。ご注文の際、「毎月」または「2カ月ごと」のどちらかからお選びください。●コースの内容変更やお届けの先延ばし、解約、休止も可能です。納品書に記載されている次回お届け予定日1週間前までに、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

ボーナスコース特典! 《初回限定・一世帯につき一回限り》 全額返金保証

万一お体に合わない場合、商品代金を全額返金いたします（定期ボーナスコースに1で2点以上お求めの方限定）。ご希望の際は、商品到着後1ヵ月以内に下記フリーダイヤルまでご一報の上、商品容器をご返品ください。返送料はお客様ご負担にてお願いいたします。

「1日中パワフルに元気でいたい！」方は今スグ！

フリーダイヤル 0120-328-328 受付時間 午前8時～午後9時 年中無休

お客様のご希望とご予算に合わせて、その他様々な商品もご案内いたします。

フリーダイヤル 0120-201-061 受付時間 24時間 年中無休

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 株式会社 フレージュ「全国農業新聞」係

インターネット https://www.fraijeu.com/

ハガキ・FAXでお申し込みの場合は、下の必要事項を記入して投函してください。

旬子 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 ㈱フレージュ「全国農業新聞」係

①商品名 ②数量 ③「毎月」または「2カ月に1回」※ ④郵便番号 ⑤住所（フリガナ） ⑥氏名（フリガナ） ⑦生年月日 ⑧電話番号 ⑨ご覧の新聞名

※ボーナスコースの場合

●［送料］全国一律500円。2点以上で送料無料。［お支払方法］①振込用紙（コンビニ払いまたは郵便振替）※到着1週間以内。②代金引換（現金またはクレジットカード、デビットカード）※到着時。ただし、3点以上ご購入の場合は、代金引換またはクレジットカード自動決済（初回のみ）でご注文詳細を確認後、製造業者に発送いたします（土曜・日曜・祝日は休業日です）。●お昼ごはんはポスト投函になります。●返品は未開封に限り商品到着後8日以内。返送料はご負担願います。●個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

「自分のやり方確立」へ

養蜂に飛び込み10年 「次の10年」熱い思い

島田市の横田川さん

【静岡】島田市神座にある「シリポッケ養蜂園」は、今年で10年目を迎え、100％天然のハチミツを生産、販売している。

運営する横田川純也さん（36）＝写真＝は、東日本大震災を機に「自分が作れるもので形あるものを残したい」という思いから養蜂の道に踏み出した。きっかけは、近所で味わった天然のハチミツ。おいしさに感銘を受け、浜松の養蜂家を手伝いつつ1年学び「これだ！」と確信し、養蜂業を始めた。

毎年、春一番に収穫したハチミツを食べたときの感動は、感銘を受けたときのことが鮮明によみがえるほど。特にゴールデンウイークに販売予定のハチミツは濃厚な香りでおすすめだ。

経営方針が明確になりつつある今後の課題は、ミツバチが過ごしやすい環境作り。横田川さんは「まだ10年なので、次の10年は自分のやり方を確立していきたい」と強い意気込みを見せる。

需要が増え、やりがいも増していると感じている中、次なる10年への準備を着々と進めている。

「シリポッケ養蜂園」は地域に根ざし、自然のおいしさを伝える一方、ミツバチを守り育てるという大きな使命を胸に、次のステージへと踏み出している。

（大塚早矢佳情報員）

カンキツ、祖母の後を継ぎ就農

作業効率化進める

御浜町の池上さん　経営安定めざす

【三重】「作業の効率化を図るとともにより一層の経営の安定化をめざしたい」と話すのは、南牟婁郡御浜町下市木で2㌶のカンキツ経営に取り組む池上裕哉さん（35）。2019年に新規就農した後、年々規模を拡大し、今では同町のミカン産地を支える担い手の一人として活躍している。

池上さんが就農するきっかけとなったのは、70㌃のカンキツ栽培に取り組んでいた祖母の離農だった。県農業大学校を卒業し、元々農業に興味があった池上さんは「祖母の後を引き継ぎ、自分も専業農家として挑戦してみよう」と就農を決意し、サラリーマン生活に別れを告げ、就農した。

地域の担い手として活躍する池上さん

最初に取り組んだのが作業の効率化。極力少人数で作業ができるよう、機械装置が容易に園地に入れるように樹間を広げるとともに、栽培品種を10種類まで拡大し、作業を分散した。その結果、規模を拡大した現在でも年間の農作業を夫婦二人だけで行えるようになったという。

また、販路拡大にも積極的に取り組み、JAへの出荷以外に地元スーパーへの直販や規格外商品を関西方面の食品加工業者と連携し、加工用材料として販売するなど経営の安定化を進めてきた。

池上さんは「自分の経験を活かし、これからは新規就農希望者への支援にも取り組みながら地域農業に貢献していきたい」と話している。

東海

東海総局
岐阜県農業会議
岐阜市薮田南5-14-12
岐阜県シンクタンク庁舎2階
058・268・2527
静岡県支局
054・294・8321
愛知県支局
052・962・2841
三重県支局
059・213・2022

全国優良経営体表彰

農水大臣賞を受賞

高山市の中野さん 県に報告

農業経営改善に功績

【岐阜】令和6年度全国優良経営体表彰の経営改善部門で農林水産大臣賞を受賞した高山市の㈱アグリストの中野俊彦代表取締役が3月14日、足立葉子県農政部長に受賞を報告した＝写真。

農水省と全国担い手育成総合支援協議会が、農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績を挙げた農業者を表彰するもので、同社の労働環境の整備や産地づくりに貢献した取り組みが評価された。

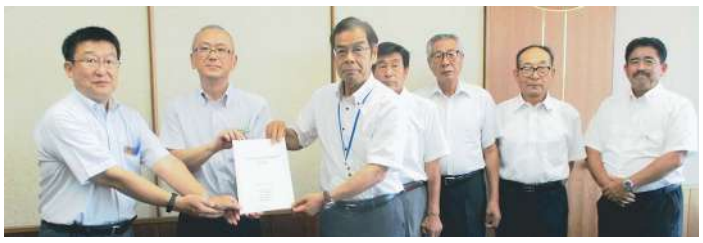
同社は、トマトや水稲・イチゴ苗など15・2㌶、菌床シイタケ2・2万ブロックを生産。労働環境の整備では、雇用する外国人技能実習生のため、旧自宅を改築した社宅や休憩室の設置、周年雇用できる生産体制導入などに努めている。

また、産地づくりにも関わり、地域農業者の多くが生産する夏秋トマトの出荷組合の部会長を務めた際には、秋季の収量低下を改善しようと、産地全体での新品種への切り替えを主導し、単収向上につなげた。中野さんは「すばらしい農業経営者の先輩がいるこの地域だからこそ続けられた。地域の人と一緒になってがんばっていきたい」と語った。

足立部長からは「中野さんの姿を目標として、産地が広がっていくことを期待している。われわれも一緒に汗をかき、産地づくりを支援したい」と激励の言葉を送った。

愛知県農地中間管理機構 新年度から

農地売買事業 新たに実施



意見書を県農林水産事務所長へ手渡す5市の会長ら。左から鈴木伸彦所長、柴田尚所長、田原市農業委員会の山本貢司会長、豊橋市農業委員会の陶山哲代理、豊川市農業委員会の羽田野栄代理、蒲郡市農業委員会の小林洋一会長、新城市農業委員会の小山嘉之代理

【愛知】県農地中間管理機構（愛知県農業振興基金、仲井靖理事長）は、2025年度から農地売買等事業を新たに実施することとなった。

県では、農地の譲渡所得の特別控除は、東三河地域を中心に年100件を超える実績があり、市町村の農用地利用集積計画による所有権移転で対応してきた。しかし、法改正により市町村の農用地利用集積計画は、機構の農用地利用集積等促進計画へ一本化されることとなり、従来の手続きができなくなることが課題となっていた。

このため、田原市や豊橋市など5市の農業委員会が連名で農委法第38条に基づく意見書を県知事あてに提出。これを受けて、大村秀章県知事をはじめ県関係者の理解が得られ、農地中間管理機構による農地売買等事業を行うこととなった。

機構を経由する農地売買では、認定農業者などの担い手であることや一定規模の経営農地があることなどの要件や、登記などに要する経費として手数料の負担や一連の事務手続きに時間がかかるなど、これまでと枠組みが変わるが、譲渡所得の特例控除への対応が可能となった。

なでしこ

西村 淳子

同じ目的持つ仲間とのつながり

【静岡】袋井市で農業委員2期目を務めさせていただいております。

先日、しずおか農業委員会女性の会の活動で、西部地区の仲間と研修会を企画しました。

袋井特産クラウンメロンの知識を深めた後は、地元のお弁当を囲みながら情報交換。女性農業委員の必要性や役割、次世代への担い手の確保などについて話し合いました。

農業委員の仕事は大変なこともありますが、こうして同じ目的を持つ仲間とつながれることはとても楽しく、大きな刺激になっています。

「次はどんな出会いが待っているだろう」――。そんな期待を胸に、これからも地域の農業を盛り上げていきたいと思います。

（しずおか農業委員会女性の会監事・袋井市農業委員）

注目の逸品 読者プレゼント

美濃市 本格芋焼酎Ｅｋｋｙｏ

遊休農地活用し原料生産

【岐阜】ブルーベリーやサツマイモの生産、菓子製造を手がける美濃市の㈱紫屋（野村良久社長、48）は昨年、蒸留所を新設し、本格芋焼酎Ｅｋｋｙｏ（えっきょう）の製造・販売を始めた。

遊休農地を活用して生産した原料のさつまいも「紅はるか」を使った焼酎は、野村社長念願の新商品。原料は芋のほか、みのにしきの米麹、清酒用Ｇ酵母、水すべてを県産にこだわり、華やかで甘い芋の香りが広がる逸品だ。アルコール分は25度で、ロック、水割り、ソーダ割り、それぞれで芋のうまみと香りが楽しめる。

今回は、本格芋焼酎Ｅｋｋｙｏ720ミリリットル1本を5人にプレゼントします。ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒500・8384 岐阜市薮田南5の14の12 岐阜県農業会議「注目の逸品 読者プレゼント係」までお送りください。

締め切りは4月11日（当日消印有効）。当選者の発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。商品のお問い合わせは、紫屋のホームページまで。

広告

ポカポカ ぐっすり 朝 シャッキリ!!

”夜間頻度”がピタッと!?

夜に何度も目が覚めては個室を往復……。熟睡できないからいつも寝不足で翌朝なんだかダル重い。そんなつらいお悩みを抱えて日々を送ってはいませんか？ そんな方にとっておきのリアル体験談をお届けいたします。

ヒンヤリつめた～い 真夜中に……何度も目が覚め ソワソワ キレが悪い

愛知県 杉本 康代さん（82歳）

超実感！ ぐったりな毎日にさようなら～♪

夜中に何度も目が覚める……。年だからしょうがない？

「60代までは本当になんの心配もなく過ごせたんですが、70歳を過ぎたあたりから夜の頻度が少しずつ増えてきちゃったの。年だからまぁしょうがないかと対策はせずに諦めていましたが、たまたま『マカリズム』を飲んだ人の体験談を見て、私の悩みによさそうだったから早速注文して頻度の悩みに取り組むことにしたのよ」

回数もヒエヒエもピタッと

「私の場合、夜は3回くらい行っていたかな。早く寝ると、その分頻度も増えるから普段はだいたい23時に寝て朝の5時くらいに起きるんだけど。約2時間に1回のペースで行ってた計算ね。しょうがないけど、やっぱり困りますよね。それが『マカリズム』を飲み始めたら、ピタッと頻度が減ったの！ それにそれだけじゃないんだよね。体験談を読んだ時も夜間頻度の悩み以外にもいろいろ期待できるのね～と思ったけど、実際他の変化も感じたんです。足元が冷たいな～ちゅうことがあったけど、今はそれがないのよね。きっとこのヒエヒエにもいいんじゃないかな。1日2粒で嬉しい発見がいくつもあるので、これからの更なる変化に期待してずっと飲み続けようと思っていますよ」

1日2粒 でこんなに変わる!?

広島県 橋奥 敏子さん（87歳）

「広告で『マカリズム』を見つけて飲み始めたんですけど私はヒンヤリを強く強じて、夏でも靴下2枚重ね履きするくらい足元がいっつも冷たかったんです。でも1日2粒飲んでいるうちに『あれ～？ 最近、ポカポカするなぁ』って！ 足元から、あったかーい感じが上がってきて今では素足でも大丈夫になったんです。もともと『マカリズム』を始めた理由は夜に何度も目が覚めて個室に行くことが多かったから。夜だけでも3回は行っていました。でも私の場合、最近は夜間頻度が3回から1回になったんです！ 夜もぐっすりと眠れるからもう寝すぎちゃうくらいなんですよ（笑）」

◎ご年齢は取材当時のものです。◎個人の感想であり体感には個人差があります。

疲れを翌日に持ち越さない!!

その理由は “熟成発酵 黒マカ” 本場ペルーの高品質なマカのみを使用!

熟成黒マカ マカリズム

信頼の有機JASマカ
◎1日2粒 目安に飲むだけ
●内容量：62粒（約1ヵ月分）
通常価格 3,240円（税込） 540円お得!
ボーナスコース価格 2,700円（税込）
［送料別途500円］2袋以上で 送料無料!

●ボーナスコースとは、毎月、あるいは2ヵ月に1回、ご利用ペースに合わせて定期的にお届けするサービスです。ご注文の際、「毎月」または「2ヵ月ごと」のどちらかからお選びください。●コースの内容変更やお届けの先延ばし、解約、休止も可能です。納品書に記載されている次回お届け予定日1週間前までに、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

ボーナスコース特典! 《初回限定・一世帯につき一回限り》 全額返金保証

万一お体に合わない場合、商品代金を全額返金いたします（定期ボーナスコースにて2点以上お求めの方限定）。ご希望の際は、商品到着後1ヵ月以内に下記フリーダイヤルまでご一報の上、商品容器をご返品ください。返送料はお客様ご負担にてお願いいたします。

「1日中パワフルに元気でいたい！」方は今スグ！

フリーダイヤル 0120-328-328 受付時間 午前8時～午後9時 年中無休

お客様のご希望とご予算に合わせて、その他様々な商品もご案内いたします。

フリーダイヤル FAX 0120-201-061 受付時間 24時間 年中無休

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 株式会社 フレージュ「全国農業新聞」係

インターネット https://www.fraijeu.com/

ハガキ・FAXでお申し込みの場合は、下の必要事項を記入して投函してください。

宛先 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 ㈱フレージュ「全国農業新聞」係

①商品名 ②数量 ③「毎月」または「2ヵ月に1回」* ④郵便番号 ⑤住所（フリガナ） ⑥氏名（フリガナ） ⑦生年月日 ⑧電話番号 ⑨ご覧の新聞名

※ボーナスコースの場合

●［送料］全国一律500円。2点以上で送料無料。［お支払方法］①振込用紙（コンビニ払いまたは郵便振替）※到着1週間以内。②代金引換（現金またはクレジットカード、デビットカード）※到着時。ただし、3点以上ご購入の場合は、代金引換またはクレジットカード自動決済（初回のみ）●ご注文詳細を確認後、設定営業日に発送いたします［土曜・日曜・祝日は休業日です］。●お届けはポスト投函になります。●商品は未開封に限り商品到着後8日以内。返送料はご負担願います。●個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

北信越

北信越総局　長野市大字南長野北石堂町1177-3　新潟県支局　025・223・2186
長野県農業会議　JA長野県ビル11F　026・217・0291
富山県支局　076・441・8961
石川県支局　076・240・0540
福井県支局　0776・21・8234

農業最前線

大規模園芸に外国人材を活用

鈴木農園、エンカレッジファーミング

新潟市西蒲区

【新潟】新潟市西蒲区で野菜・花苗を生産している㈲鈴木農園（近藤洋子代表取締役）と大規模園芸施設でミニトマトとリーフレタスを生産しているエンカレッジファーミング㈱（近藤敏雄代表取締役）は、両社で技能実習生、特定技能生合わせて29人の外国人材を受け入れている。

1998年設立の鈴木農園は、6次産業化の足がかりとして2013年にエンカレッジファーミングを立ち上げ、農業法人では県内トップクラスの経営体だ。

昨年11月に竣工した面積2㌶の大規模施設でリーフレタスを収穫する技能実習生

言葉の壁克服へ社員とセットで作業

鈴木農園は、06年から技能実習生の受け入れを始めた。土日祝祭日の人員確保が目的だった。14年ごろからパートが思うように集まらないことから、技能実習生の人数も増えた。

最初は中国からだったが、第9期生からはベトナムに変わり、現在はベトナム、カンボジア、ミャンマー、タイの4カ国から受け入れている。

作業は、播種、定植、収穫、出荷。両社合わせて160棟の施設が8カ所に散らばることから、社員と実習生がセットで動いている。

「『言葉の壁』と『外国人単独での作業ができない』ことが課題」という同社の鈴木孝常務取締役は「社員は毎年新人に作業を一から教えている。教えることが自分自身の能力向上につながっている」と人材確保だけではないメリットも挙げている。

昔ながらの郷土食を見直そう！

恒例「千曲市食の文化祭」

料理講習などが市民に好評

祝い寿司を作る参加者

【長野】千曲市の食文化を体験する「第14回千曲市食の文化祭」がこのほど、同市の戸倉創造館で開かれた。

郷土食を学ぶ市民グループ「かけはしの会」などで構成される実行委員会が主催したもので、多くの市民が訪れ、地元産の野菜を使った料理を味わう箱膳体験や昔ながらの塩麹づくり、自ら飾り付けをして楽しむ祝い寿司づくりを楽しんだ。

かけはしの会が講師を務めた祝い寿司づくりでは、親子での参加者もいて、「初めての体験で良い思い出になりました」と笑顔で話していた。

大ホールで行われた屋代高校棚田探求グループの生徒たちによる活動発表では、棚田での農業体験を通して学んだことや、今後の課題、食とのつながりについて発表された。

発表を見た参加者からは「若い世代が未来に棚田を残すことに興味を持っているのはすばらしい。地域の大人が応えなければいけないと思う」「美しい自然と景観に触れて農業体験をするすばらしさをいつまでも大切にしてほしい」との感想が寄せられた。

屋代高校棚田探求グループによる活動発表

めざすはヒマワリ商品特産化

舟橋村

小学3年生の総合学習でプロジェクトについて出前授業を行う渡辺村長

サンフラワープロジェクト始動

【富山】舟橋村では、昨年度から「サンフラワープロジェクト（仮称）」を始動した。

プロジェクトは、村の耕作放棄地を活用し、地域住民、行政関係者が一体となり、搾油用のヒマワリを植え付けて収穫。油をとり、将来的な商品化をめざすというもの。

耕作放棄地活用し栽培 官民一体で地域活性化

プロジェクト名は住民などにアイデアを募集し、正式名称とロゴを決定する予定だ。

同村は、継続して人口は増えているが、コロナ禍を経て、世代間交流や組織間の交流が希薄になったことが課題となっている。村内外のつながりを深めることで、人口のさらなる増加を図るとともに、プロジェクトで栽培したヒマワリを活用した特産品の開発を通じて、地域への愛着を育むことをめざす。

昨年度は、主に地域住民と村関係者が連携し、栽培から収穫までの作業を実施したほか、2月には渡辺光村長が舟橋小学校3年生の総合学習で、プロジェクトについての出前授業を行った。

村関係者は「本年度もヒマワリで村を盛り上げていきたい」と話す。

（舟橋村農業委員会・政二勇太情報員）

うまいものバンザイ

お菓子屋「ヒミツキチ」

富山市

自家栽培の米粉で食感に変化

チョコミントケーキを手に毛利さん

【富山】富山市八尾町にあるお菓子屋「ヒミツキチ」は、2018年に開業し、23年にはイートインスペースを設けた店舗を構えて営業している。店主の毛利良美さん（49）は「夢の国をモチーフに店内をデザインした」と笑顔で語る。

毛利さんは元々美容サロンを営んでいたが、昔から趣味だったお菓子作りで商売をしたいと考え、新たにお菓子屋を開業。サロンの常連客や知人相手に販売していたが、口コミなどでうわさが広がり、人気店となった。

ケーキや焼き菓子には自家栽培米で作った米粉が使われており、食感が変化するという。おすすめはレインボーケーキとチョコミントケーキ。特にレインボーケーキは色が違うスポンジを重ね、きれいなことから子どもにも人気だ。

今後は、「ワークショップなども開催し、地域の活性化につなげられる拠点を作っていきたい」と毛利さんは語る。

▼富山市八尾町杉田603。営業日は毎週、金土日曜日（水曜、木曜日も営業することあり。不定期）。詳細は、インスタグラム（二次元コード参照）まで。

夫婦で多彩な野菜生産

〈 福井市・清斗農園 〉

6次産業化、農福連携も視野に

【福井】「この『清斗農園®』のラベルも幼なじみが描いてくれたんですよ」と笑顔で話すのは、福井市で清斗農園を営む清水慎介さん（46）、江梨華さん（44）夫妻だ。

主力の水稲種子栽培に加え、福井市特産、金福すいかや市オリジナル品種「きゃろふくニンジン」など、希少性のある新野菜の栽培も手がける。

金福すいかと清斗農園のマスコット「ななちゃん」、きゃろふくニンジン

江梨華さんは「自分が野菜の好き嫌いが多いので、だれでもおいしく食べられる野菜を作りたいと思い、就農時に栽培を始めた」と話す。

「北斗七星のひしゃくで、野菜嫌いな人も救いたい」という思いを込めて農園名を清斗農園に。謳い文句の「すき野菜®」とともに商標登録した。

また、自家栽培野菜を使用した加工品の製造・販売にも取り組み、今後は福祉施設への作業委託など、農福連携も進めたいと意欲的だ。

「ブランディング、6次産業化、農福連携、すべて研修会や地域活動で知り合った人との出会いの結果。人に恵まれた」と謙遜するが、農業に向き合う真摯な姿勢が評価され、今年3月には福井市農林水産奨励賞を受賞した。

「妻が始めた野菜づくりだけど、僕としても野菜の味は誰にも負けたくない」と語る慎介さんからは、農業に対する情熱を感じた。

（福井市農業委員会・山田泰之情報員）

町民総出で今年も盛大に

川北町

40回目迎える「川北まつり」

【石川】川北町では例年8月第1土曜日に手取川簡易グラウンドで川北まつりを開催しており、今年で40回目を数える。

川北まつりは、1986年に「全町民が参加できるまつりをしてはどうか」という声のもと、農作物につく害虫を退治して豊作を祈る「虫送り太鼓」と、手取川大洪水の犠牲者の慰霊の意味で「送り火」を行うことを目的に開催している。

まつりは、手取川大洪水の犠牲者の慰霊の意味で「送り火」を行うことを目的に開催している。

鼓をはじめとした太鼓チームらによる「和太鼓フェスティバル」を皮切りに、地元女性協議会を中心とした「かがり火踊り」「比楽河撫子舞」による迫力あるよさこいなどが催された後、町民約600人が参加する送り火行列へと続いていく。その後、虫送り太鼓の乱打とともに高さ約40㍍の大かがり火に点火され、会場の盛り上がりは最高潮を迎える。

40回記念となるこのまつりは、各地区が協力し、まつりをより一層盛り上げていく。

（川北町農業委員会・松本高大情報員）

燃え上がる大かがり火（川北まつり写真コンテスト応募作品より）

広告

熟成黒マカ　マカリズム

信頼の有機JASマカ

●内容量：62粒（約1ヵ月分）

通常価格 3,240円（税込）

540円お得！

ボーナスコース価格 2,700円（税込）

◎1日2粒目安に飲むだけ

［送料別途500円］2袋以上で送料無料！

●ボーナスコースとは、毎月、あるいは2ヵ月に1回、ご利用ペースに合わせて定期的にお届けするサービスです。ご注文の際、「毎月」または「2ヵ月ごと」のどちらかからお選びください。●コースの内容変更やお届けの先延ばし、解約、休止も可能です。納品書に記載されている次回お届け予定日1週間前までに、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

ボーナスコース特典！《初回限定・一世帯につき一回限り》全額返金保証

万一お体に合わない場合、商品代金を全額返金いたします（定期ボーナスコースに「2点以上お求めの方限定」）。ご希望の際は、商品到着後1ヵ月以内に下記フリーダイヤルまでご一報の上、商品容器をご返品ください。返送料はお客様ご負担にてお願いいたします。

「1日中パワフルに元気でいたい！」方は今スグ！

フリーダイヤル 0120-328-328　受付時間 午前8時～午後9時 年中無休

お客様のご希望とご予算に合わせて、その他様々な商品もご案内いたします。

フリーダイヤル 0120-201-061　受付時間 24時間 年中無休

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 株式会社 フレージュ「全国農業新聞」係

インターネット https://www.fraijeu.com/

ハガキ・FAXでお申し込みの場合は、下の必要事項を記入して投函してください。

旬子 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 ㈱フレージュ「全国農業新聞」係

①商品名 ②数量 ③「毎月」または「2ヵ月に1回」※ ④郵便番号 ⑤住所（フリガナ） ⑥氏名（フリガナ） ⑦生年月日 ⑧電話番号 ⑨ご覧の新聞名

※ボーナスコースの場合

●［送料］全国一律500円。2点以上で送料無料。［お支払方法］①振込用紙（コンビニ払いまたは郵便振替）※到着1週間以内。②代金引換（現金またはクレジットカード、デビットカード）※到着時。ただし、3点以上ご購入の場合は、代金引換またはクレジットカード自動決済（初回のみ）。ご注文詳細を確認後、製造業者に発送いたします（土曜・日曜・祝日は休業日です）。●お昼ごはポスト投函になります。●返品は未開封に限り商品到着後8日以内。返送料はご負担願います。●個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

ヒンヤリつめた～い　真夜中に……何度も目が覚め ソワソワ キレが悪い

夜に何度も目が覚めては個室を往復……。熟睡できないからいつも寝不足で翌朝なんだかダル重い。そんなつらいお悩みを抱えて日々を送ってはいませんか？そんな方にとっておきのリアル体験談をお届けいたします。

愛知県 杉本 康代さん（82歳）

超実感！ぐったりな毎日にさようなら～♪

夜中に何度も目が覚める……。年だからしょうがない？

「60代までは本当になんの心配もなく過ごせたんですが、70歳を過ぎたあたりから夜の頻度が少しずつ増えてきちゃったの。年だからまぁしょうがないかと対策はせずに諦めていましたが、たまたま『マカリズム』を飲んだ人の体験談を見て、私の悩みによさそうだったから早速注文して頻度の悩みに取り組むことにしたのよ」

回数もヒエヒエもピタッと

「私の場合、夜は3回くらい行っていたかな。早く寝ると、その分頻度も増えるから普段はだいたい23時に寝て朝の5時くらいに起きるんだけど。約2時間に1回のペースで行ってた計算ね。しょうがないけど、やっぱり困りますよね。それが『マカリズム』を飲み始めたら、ピタッと頻度が減ったの！ それにそれだけじゃないんだよね。体験談を読んだ時も夜間頻度の悩み以外にもいろいろ期待できるのね～と思ったけど、実際他の変化も感じたんです。足元が冷たいな～ちゅうことがあったけど、今はそれがないのよね。きっとこのヒエヒエにもいいんじゃないかな。1日2粒で嬉しい発見がいくつもあるので、これからの更なる変化に期待してずっと飲み続けようと思っていますよ」

疲れを翌日に持ち越さない!!

その理由は "熟成発酵 黒マカ"

本場ペルーの高品質なマカのみを使用！

*「J.M.McCord及び I.Fridovichが定義した単位［J.Biol.Chem.,2446049(1969)］に相当するSOD消去活性能として」（ともに日本食品分析センター調べ）

贅沢配合!! 中からポカポカに

金時ショウガ末　ヒハツ抽出物　黒胡椒抽出物

1日2粒でこんなに変わる!?

広島県 橋奥 敏子さん（87歳）

「広告で『マカリズム』を見つけて飲み始めたんですけど私はヒンヤリを強く強じて、夏でも靴下2枚重ね履きするくらい足元がいつも冷たかったんです。でも1日2粒飲んでいるうちに『あれ～？ 最近、ポカポカするなぁ』って！ 足元から、あったかーい感じが上がってきて今では素足でも大丈夫になったんです。もともと『マカリズム』を始めた理由は夜に何度も目が覚めて個室に行くことが多かったから。夜だけでも3回は行っていました。でも私の場合、最近は夜間頻度が3回から1回になったんです！ 夜もぐっすりと眠れるからもう寝すぎちゃうくらいなんですよ（笑）」

◎ご年齢は取材当時のものです。◎個人の感想であり体感には個人差があります。

広告

ポカポカ ぐっすり 朝 シャッキリ!!

"夜間頻度"がピタッと!?

「THE 農業塾」～経営・栽培を次のステージへ～

近畿府県の農業塾では、経営感覚の育成、栽培技術の向上をめざして、支援を展開している。今回は、府県の農業塾の取り組みを紹介する。

淡路島から世界品質のタマネギを

淡路市　齋藤 亜紀美さん

世界品質のタマネギをめざす齋藤さん

【兵庫】淡路市でタマネギ栽培に取り組む㈱池上農場代表取締役の齋藤亜紀美さん（44）は、地元の淡路島で中学校の教員を勤めた後、結婚を機に夫の故郷・福島県で暮らし始めたが、東日本大震災で1歳の長女と実家に避難。その年に建設業を営む父が農業にも参入し、手伝ったのがタマネギ栽培だった。

以来、農業経営を本格的に学ぼうと「ひょうご農業MBA塾」に参加し、「娘に食べさせても安心なタマネギを」との思いから、化学肥料と農薬を減らした栽培にも挑戦。「兵庫県認証食品」の認証を受け、タマネギ専業で14・5㌶の栽培面積へと拡大した。

全国屈指のタマネギ産地・淡路島で大規模栽培を支えるのは、ベトナムからの実習生を含む社員15人。MBA塾で学んだ労務管理と経営感覚を生かして「社員とともに淡路島から世界品質のタマネギを栽培したい」と齋藤さんの夢がさらに膨らむ。（山口昭彦）

ビジョン明確化、労務管理を改善

紀の川市　長谷川 博さん

「ともに研さんすることで、経営について話せる仲間ができるのも大きい」と話す長谷川さん

【和歌山】「経営の理念やビジョンを考える契機になりました」と話すのは、紀の川市のHAPI FARMの長谷川博さん（42）。促成ナスや露地野菜を約1㌶栽培し、地元スーパーなどに出荷している。

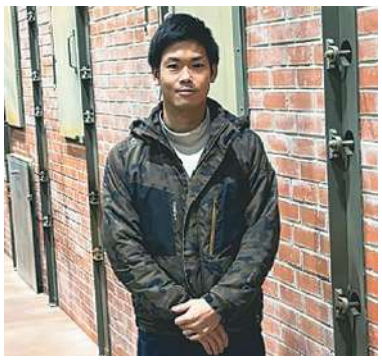
県主催の研修会で旧「わかやま農業経営MBA塾」を知り、2022年度に受講。正社員を雇用したことをきっかけに、経営理念や人材マネジメント部分の再検討が必要だと感じ、24年度に「わかやま農業経営塾」のステップアップ講座を受講した。

塾で学んだことを通じ、経営理念を明確化した。従業員の労務管理や雇用環境、資金管理の改善に取り組んでいる。

今後は妻の実家との経営統合や法人化、設備投資や規模拡大などをめざしている長谷川さん。「経営のめざすべきところを明確にできる。自身の経営のめざす方向性に悩んでいる農家はぜひ受講してみては」とメッセージを送る。（田村健伍）

経営感覚を高め成長軌道めざす

甲賀市　佐伯 友樹さん


てん茶の加工ライン（レンガの乾燥室）と佐伯さん

【滋賀】茶34㌶を生産する甲賀市の㈱グリーンティ土山（藤村春樹代表理事）で、主に経理と商品発送を担当する佐伯友樹さん（33）は、理事として経営知識が必要と感じ、「しがの農業経営塾」を2018年に受講し、修了している。

当時は、茶の市場動向に変化があり、買い手需要が、せん茶からてん茶に変わる時期だった。収穫適期が短い茶の生産現場で、てん茶生産は、比較的収穫期が長く生産量が多いため増益につながるが、新しい加工ラインを備えた設備投資が必要となる。

この時期、佐伯さんは、同経営塾で学んだ損益の計算や中期経営計画の検証が大切であることを、特に認識するようになったと振り返る。

現在は、てん茶生産への移行が進み生産量の大半を占めるようになった。「今後も、同塾への経営相談を続け、規模拡大と品質管理による買い手への信用と生産性を高めて内部留保の増大を図り、気候変動など生産環境の変化や市場動向にいち早く順応できるようにしたい」と抱負を語った。（中野剛）

地の利活かした経営を追求

京都市　福井 悠祐さん

農業体験農園を経営の柱に据えるためピザ窯を導入した福井さん

【京都】「経営塾で同年代の仲間から刺激を受けて学んだおかげで、経営者としての考え方が鮮明になった」と語る京都市の福井悠祐さん（40）。2023年度の京都農業経営塾に参加して経営理念と事業計画が明確になり、売り上げと経費や作業時間を作物ごとに記録し分析した結果、正確に収支を把握して毎年度の改善目標を立てるようになった。

JR桂川駅と大型商業施設が近年誕生し、近隣の都市化が進む地域で、伝統野菜の京セリ、トマト、トウモロコシなどを栽培し、自宅前の直売所やスーパーの地場野菜コーナーで販売する福井さん。農業に興味を抱く非農家が近所に多く居住している利点を活かすため、農業体験農園部門を強化し、農園利用者との交流に力を入れている。

10年後を見通して、経営塾で農業体験農園運営プランを盛り込んだ経営計画を作成した福井さんは、自らの経験をもとに、若い農業者に塾への参加を呼びかけている。（山下道弘）

経験活かし高品質のイチゴ栽培

広陵町　竹嶋 大一さん

「一粒一粒キラキラと輝くようなおいしいイチゴを大切に育てている」と話す竹嶋さん

【奈良】「イチゴ農家になるため、広陵町農業塾を受講し、農業委員会などからの支援があったおかげで、今の自分がある」と話すのは、広陵町の竹嶋大一さん（51）だ。ビニールハウス7㌃で、古都華など3品種を高設栽培している。

地元で新規就農を考えていたところ、同町農業塾ではイチゴを学べると聞き、入塾した。2年間栽培技術を学んだ後、農業委員会から農地のあっせんを受けて、2021年4月に就農した。

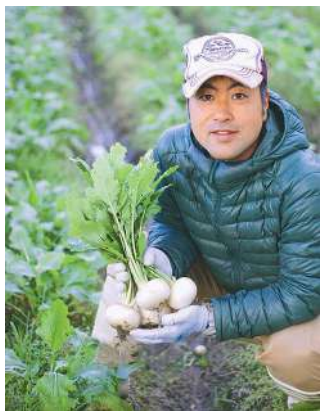
病害虫の対応やハウス内における気温調整の適切な対応について、塾での学びを活かしている。

収量が安定してからは、圃場横に自身が設置する直売所「星乃苺や」で販売している。甘くみずみずしいイチゴがインスタグラムで話題となり、県内外のお客さんが買いに来ている。

「リピーターをさらに増やすために、イチゴの質を今以上に高めたい。観光農園を開くのも夢」と竹嶋さんは意気込む。（木村将史）

新しいことに挑戦、人脈形成も

和泉市　辻井 義隆さん


「農業経営塾では同業者はもちろん異業種の人との人脈も作ることができた」と辻井さん

【大阪】和泉市の農家の7代目で、多品目の野菜や果樹を生産する「つじい農園」の辻井義隆さん（46）は、府とJAグループ大阪が主催した農業経営塾「大阪アグリアカデミア」の受講をきっかけに、6次産業化に取り組んでいる。

同塾には、意欲的な同業者と意見交換する場を求めて応募した。

「受講前はとにかく規模の拡大を考えていた」と辻井さん。しかし、同塾での経営分析に基づいて雇用費を把握したことや、コロナ禍で取引先が激減した経験から経営方針を転換した。

以前から実施していた体験農園に加えて、収益向上のため付加価値の創出に注力。2023年には「完熟パプリカ糀ソース」などの加工品を開発して販売を開始した。

アグリアカデミアの後継で昨年12月開講の「トップセールス農業経営セミナー」も受講した辻井さんは「加工品販売のノウハウと販路拡大が目標。常に新しいことに挑戦したい」と話す。（林佑一郎）

近畿

近畿総局
京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内
075・441・3660

滋賀県支局　077・523・2439
大阪府支局　06・6941・2701
兵庫県支局　078・391・1221
奈良県支局　0742・22・1101
和歌山県支局　073・432・6114

広告

ポカポカ ぐっすり♪ 朝 シャッキリ!!

"夜・間・頻・度"がピタッと!?

夜に何度も目が覚めては個室を往復……。熟睡できないからいつも寝不足で翌朝なんだかダル重い。そんなつらいお悩みを抱えて日々を送ってはいませんか？ そんな方にとっておきのリアル体験談をお届けいたします。

ヒンヤリつめた～い　真夜中に……何度も目が覚め ソワソワ キレが悪い

愛知県 杉本 康代さん（82歳）
超実感！ぐったりな毎日にさようなら～♪

夜中に何度も目が覚める……。年だからしょうがない？

「60代までは本当になんの心配もなく過ごせたんですが、70歳を過ぎたあたりから夜の頻度が少しずつ増えてきちゃったの。年だからまぁしょうがないかと対策はせずに諦めていましたが、たまたま『マカリズム』を飲んだ人の体験談を見て、私の悩みによさそうだったから早速注文して頻度の悩みに取り組むことにしたのよ」

回数もヒエヒエもピタッと

「私の場合、夜は3回くらい行っていたかな。早く寝ると、その分頻度も増えるから普段はだいたい23時に寝て朝の5時くらいに起きるんだけど。約2時間に1回のペースで行ってた計算ね。しょうがないけど、やっぱり困りますよね。それが『マカリズム』を飲み始めたら、ピタッと頻度が減ったの！ それにそれだけじゃないんだよね。体験談を読んだ時も夜間頻度の悩み以外にもいろいろ期待できるのねぇと思ったけど、実際他の変化も感じたんです。足元が冷たいなぁちゅうことがあったけど、今はそれがないのよね。きっとこのヒエヒエにもいいんじゃないかな。1日2粒で嬉しい発見がいくつもあるので、これからの更なる変化に期待してずっと飲み続けようと思っていますよ」

1日2粒でこんなに変わる!?

広島県 橋爽 敏子さん（87歳）

「広告で『マカリズム』を見つけて飲み始めたんですけど私はヒンヤリを強く強じて、夏でも靴下2枚重ね履きするくらい足元がいっつも冷たかったんです。でも1日2粒飲んでいるうちに『あれ～？ 最近、ポカポカするなぁ』って！ 足元から、あったかーい感じが上がってきて今では素足でも大丈夫になったんです。もともと『マカリズム』を始めた理由は夜に何度も目が覚めて個室に行くことが多かったから。夜だけでも3回は行っていました。でも私の場合、最近は夜間頻度が3回から1回になったんです！ 夜もぐっすりと眠れるからもう寝すぎちゃうくらいなんですよ（笑）」

◎ご年齢は取材当時のものです。◎個人の感想であり体感には個人差があります。

熟成黒マカ マカリズム
信頼の有機JASマカ
◎1日2粒目安に飲むだけ
●内容量：62粒（約1ヵ月分）
通常価格 3,240円（税込）
540円お得!
ボーナスコース価格 2,700円（税込）
［送料別途500円］2袋以上で 送料無料!
●ボーナスコースとは、毎月、あるいは2ヵ月に1回、ご利用ペースに合わせて定期的にお届けするサービスです。ご注文の際、「毎月」または「2ヵ月ごと」のどちらかからお選びください。●コースの内容変更やお届けの先延ばし、解約、休止も可能です。納品書に記載されている次回お届け予定日1週間前までに、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

ボーナスコース特典! 《初回限定・一世帯につき一回限り》 全額返金保証
万一お体に合わない場合、商品代金を全額返金いたします（定期ボーナスコースにて2点以上お求めの方限定）。ご希望の際は、商品到着後1ヵ月以内に下記フリーダイヤルまでご一報の上、商品容器をご返品ください。送料はお客様ご負担にてお願いいたします。

「1日中パワフルに元気でいたい！」方は今スグ！
通話料無料 0120-328-328 受付時間 午前8時～午後9時 年中無休
お客様のご希望とご予算に合わせて、その他様々な商品もご案内いたします。
通話料無料 0120-201-061 受付時間 24時間 年中無休
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 株式会社 フレージュ「全国農業新聞」係
インターネット https://www.fraijeu.com/
ハガキ・FAXでお申し込みの場合は、下の必要事項を記入して投函してください。
切手 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 ㈱フレージュ「全国農業新聞」係
①商品名 ②数量 ③「毎月」または「2ヵ月に1回」※ ④郵便番号 ⑤住所（フリガナ） ⑥氏名（フリガナ） ⑦生年月日 ⑧電話番号 ⑨ご覧の新聞名
※ボーナスコースの場合
●［送料］全国一律500円。2点以上で送料無料。［お支払方法］①振込用紙（コンビニ払いまたは郵便振替）※到着1週間以内。②代金引換（現金またはクレジットカード、デビットカード）※到着時。ただし、3点以上ご購入の場合は、代金引換またはクレジットカード自動決済（初回のみ）。●ご注文詳細を確認後、翌営業日に発送いたします（土曜・日曜・祝日は休業日です）。●お届けはポスト投函になります。●品切は未開封に限り商品到着後6日以内。返送料はご負担願います。●個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

特産「神倉大豆」を後世に

生産部長として振興に尽力

三朝町　米原章太郎さん

上米原さんの神倉大豆畑、下米原さん

【鳥取】三朝町の特産品「三朝神倉大豆（以下、神倉大豆）」は、同町神倉地区で古くから作り続けられていた在来品種。大豆イソフラボンが一般的な大豆の約2倍含まれ、たんぱく質も豊富、大粒で甘みもあり、「幻の大豆」とも呼ばれている。

同町農業委員の米原章太郎さん（66）は、JA鳥取中央三朝神倉大豆生産部長も務めており、2・5㌶で神倉大豆を栽培。同町では、34戸の農家が約41㌶で栽培している。

神倉大豆は通常の品種より背丈が高いため、強風の影響を受けやすい。「三朝町の特産品として、これからも守り続けていかなければならない」という米原さん。そんな米原さんたち生産者の努力が実り、近年、神倉大豆の知名度も広まりつつある。

不二家から今年2月、神倉大豆のきなこと沖縄産黒蜜を組み合わせた季節限定品「カントリーマアム黒蜜きなこ」が販売されている（4月末まで）。また、JA鳥取中央は同町特産の米「きぬむすめ」と神倉大豆を使った甘みのあるまろやかな風味の味噌を開発し、県内の味噌製造会社が製造を請け負っている。その他にも豆腐や納豆、豆乳、水煮や大豆あんを使用したどら焼きも「神シリーズ」として商品化されている。

伝統ある大豆を今後も受け継ぐため、同町ではJAや県と連携し、神倉大豆の生産拡大に取り組んでいる。

イベントの情報は、ホームページ（https://www.instagram.com/mabi_hatake/）を参照。

問い合わせは、倉敷市真備支所産業課（☎086・698・8113）まで。

「手ぶらで野菜づくり」が人気

〈 倉敷市・やた体験型農園 〉

毎月イベント、親子ら農作業楽しむ

【岡山】倉敷市真備町の「やた体験型農園」では、同農園の利用者らが参加するさまざまなイベントを毎年4月から1月まで月1回程度開催している。

同園は、同町箭田地区に整備した約1100平方㍍の畑で2023年9月に開園した。種や苗、肥料、農具など作業に必要なものはすべて農園が用意し、手ぶらで野菜作りの技術を習得できる体験型の農園だ。

平成30年西日本豪雨災害で被災した同地区の復興事業として、被災者の居場所づくりや農作業に興味関心がある人や気軽に自分で育てた野菜を食べたい人の要望に応え、参加者同士の交流の場としてスタートした。

今年1月に行われたイベントでは、焼き芋作りや麦踏み、サトウキビの試食、当日収穫したニンジンを使った人参ドレッシング作りなどを行った＝写真。

参加者は毎回10人ほどで主に親子連れが多い。参加したある親子は「子どもはイベントを楽しみにしている。ニンジンを掘る作業は意外と難しく、子どもたちは苦戦していた。日頃できない体験を子どもにさせることができるので、参加して良かった」と話す。

同農園には、同地区の百本恵子農地利用最適化推進委員（64）も地域ボランティアとして参加し、イベントを盛り上げている。

中国路の話題を追って

▷280◁

「来年も参加したい」と人気の恒例行事

東広島市

農業委員会女性部会

【広島】東広島市農業委員会女性部会（部会長＝古川みどり農業委員）はこのほど、全農ひろしま・JAひろしま・農機メーカーの協力のもと、女性農業者を対象にした農機具安全取扱講習会を実施した。講習会は毎年開催しているが、今回は会場のJA全農ひろしま広島営農技術センター（同市河内町）に、予定を超える26人の女性農業者が参集した。

最初の座学では、全農ひろしま機械課の職員が農作業事故の状況を説明し、安全な農作業の心得を伝えた。

その後、女性の利用も多い刈払機と管理機の実物を使い、安全利用のための点検ポイントや、快適な作業と機械の長持ちにつながる日頃の清掃、部品交換、燃料の保管方法などについて、JAやメーカー職員が指導。刈払機の取り扱いでは、日頃のこまめなメンテナンスを行うことで、快適な作業と機械の長期間使用につながるとポイントを解説した＝写真。

参加者は実際のメンテナンス作業に目を凝らし、資料にメモをしながら熱心に質問を繰り返していた。

同市志和町で農地を集落法人に預け、畦畔を管理しているという親子は「刈払機のエンジンのかかりが悪くて困っていた。これからの春作業の本番前に取り扱いやメンテナンスの方法が聞けて助かった。ぜひまた参加したい」と話すなど、講習会の継続を望む声も聞かれた。

中国

女性対象の農機具安全取扱講習会

中国総局
鳥取県農業会議
鳥取県鳥取市東町1丁目271番地
県庁第2庁舎8階
0857・26・8371

島根県支局　0852・22・4471
岡山県支局　086・234・1093
広島県支局　082・545・4146
山口県支局　083・923・2102

地域の自慢

濃厚な味と豊かな風味

山陽小野田市　おのだネギ三味

【山口】山口県産の青ネギのブランド「おのだネギ三味」＝写真＝は、濃厚な味と豊かな風味、葉のシャキシャキ感が特徴で、さまざまな料理に使われている。

このネギを主力商品としているのが、瀬戸内海に面する山陽小野田市の西高泊干拓で施設野菜を生産する㈲グリーンハウス（松村正勝代表取締役、55）。同社は、バークチップ堆肥を使った土づくりや自動洗浄機、自動計量結束システムを備えた包装センターによる生産効率の向上に力を入れ、2018年にはASIAGAPを取得した。現在はハウス5㌶と露地5㌶で年間300万束を生産・出荷している。

干拓地の塩分ストレスと灌水制限で鍛えられ、力強く育ったネギは風味が落ちることなく、棚持ちが良い。葉肉がしっかりしているので薬味としてだけでなく、ネギ焼きやスープなどで料理の主役としても使うことができる。

ブランド名は市民から公募した。ネギ「三昧」の名にふさわしく、同社のホームページでは、ネギ焼きやネギのベーコン巻き、ネギ肉味噌、ネギスープ、ネギダレ、ネギ入りオムレツなどさまざまな料理レシピを紹介している。地域のラーメン屋さん、うどん屋さん、居酒屋さんが提供する「ネギ三味サラダ」や「ネギ三味ラーメン」などの特選メニューも人気だ。

同ネギは食感が良く、加熱すると甘みが増すので、サッとゆでてサラダにして食べてもおいしい。

石見和牛の肥育事業を継承

邑南町　矢上運送

畜産振興へ運送業のメリット活かす

牛舎で渡邊社長

【島根】邑南町の㈲矢上運送（渡邊圭司社長、52）は、㈱ワクムスを設立し、JAしまね島根おおち地区本部が行っていた未経産雌牛のブランド「石見和牛」の肥育事業を継承した。

同JAは2022年、採算悪化に伴う事業撤退を決定し、継承者を公募した。渡邊社長は畜産業が未経験だったが、地元の産業を守りたいと思い24年に事業を継承した。

現在は90頭を飼育し、月平均4頭を出荷。JA職員による飼育の指導やサポートを受けながら運営している。独自の取り組みとして、同県川本町で生産が盛んなエゴマ油の廃棄される搾りかすを飼料に使用。高騰する飼料価格対策に加え、エゴマに含まれるα－リノレン酸などによって油身の質の向上も期待される。

また、飼料や牛糞の運搬を既存の運送ルートに組み込み効率化を図るなど、運送業のノウハウを活かしたコスト削減にも取り組んでおり、将来は牛の運送も視野に入れる。

渡邊社長は「和牛を守ることは、繁殖農家や加工販売業者など地元の産業を守ることにもつながる。運送業との両立で相乗効果を図り、規模拡大や効率化をめざしていきたい」と語った。

女性従業員が働きやすい環境整備

山陽小野田市・エスケイサービス

日本農業賞で優秀賞を受賞

日本農業賞の優秀賞を受賞したエスケイサービスの小早川代表取締役（中央）

【山口】山陽小野田市の埴生干拓で施設園芸などを営む㈱エスケイサービスがこのほど、第54回日本農業賞（個別経営の部）の優秀賞を受賞した。

同賞はNHKとJA全中が共催し、意欲的な経営や高度な生産技術、農地の集団化、地域農業への貢献などを総合的に評価し、新たな経営体の事例を選出・表彰している。本年度は、個別経営の部が94件、集団経営の部が93件の応募があった。

2014年に設立した同社は、現在、約3・2㌶の農地でアスパラガスやイモ苗、キャベツなどをハウスや露地で栽培している。従業員の約9割を女性が占め、女性のライフスタイルに応じた勤務体制を整備したり、女性用トイレや更衣室、休憩室を設置するなど、女性が働きやすい環境整備に努めていることが評価された。

同社の小早川さん代表取締役は「女性が活躍する場を創出し、女性がその個性と能力を十分に発揮することは、これからの農業にとって一層重要となっている。受賞をきっかけに、従業員の声により一層耳を傾け、男女を問わず職業生活と家庭生活の両立が可能となる職場環境の整備に力を注ぎたい」と抱負を語る。

（山陽小野田市農業委員会）

熟成黒マカ　マカリズム

信頼の有機JASマカ
◎1日2粒目安に飲むだけ
●内容量：62粒（約1ヵ月分）
通常価格 3,240円（税込）
540円お得！
ボーナスコース価格 2,700円（税込）
［送料別途500円］2袋以上で 送料無料！
●ボーナスコースとは、毎月、あるいは2ヵ月に1回、ご利用ペースに合わせて定期的にお届けするサービスです。ご注文の際、「毎月」または「2ヵ月ごと」のどちらかからお選びください。●コースの内容変更やお届けの先延ばし、解約、休止も可能です。納品書に記載されている次回お届け予定日1週間前までに、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。
ボーナスコース特典！《初回限定・一世帯につき一回限り》全額返金保証
万一お体に合わない場合、商品代金を全額返金いたします［定期ボーナスコースにて2点以上お求めの方限定］。ご希望の際は、商品到着後1ヵ月以内に下記フリーダイヤルまでご一報の上、商品容器をご返品ください。送料はお客様ご負担にてお願いいたします。
「1日中パワフルに元気でいたい！」方は今スグ！
0120-328-328　受付時間 午前8時～午後9時 年中無休
お客様のご希望とご予算に合わせて、その他様々な商品もご案内いたします。
0120-201-061　24時間 年中無休
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 株式会社 フレージュ「全国農業新聞」係
インターネット https://www.fraijeu.com/
ハガキ・FAXでお申し込みの場合は、下の必要事項を記入して投函してください。
切手 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 ㈱フレージュ「全国農業新聞」係
①商品名 ②数量 ③「毎月」または「2ヵ月に1回」※ ④郵便番号 ⑤住所（フリガナ） ⑥氏名（フリガナ） ⑦生年月日 ⑧電話番号 ⑨ご覧の新聞名
※ボーナスコースの場合
●［送料］全国一律500円。2点以上で送料無料。［お支払方法］①振込用紙（コンビニ払いまたは郵便振替）※到着1週間以内。②代金引換（現金またはクレジットカード、デビットカード）※到着時。ただし、3点以上ご購入の場合は、代金引換またはクレジットカード自動決済（初回のみ）。●ご注文詳細を確認後、翌営業日に発送いたします（土・曜・日曜・祝日は休業日です）。●お届けはポスト投函になります。●返品は未開封に限り商品到着後8日以内。返送料はご負担願います。●個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

ヒンヤリつめた～い　真夜中に……何度も目が覚め ソワソワ キレが悪い

夜中に何度も目が覚める……。年だからしょうがない？

「60代までは本当になんの心配もなく過ごせたんですが、70歳を過ぎたあたりから夜の頻度が少しずつ増えてきちゃったの。年だからまぁしょうがないかと対策はせずに諦めていましたが、たまたま『マカリズム』を飲んだ人の体験談を見て、私の悩みによさそうだったから早速注文して頻度の悩みに取り組むことにしたのよ」

回数もヒエヒエもピタッと

「私の場合、夜は3回くらい行っていたかな。早く寝ると、その分頻度も増えるから普段はだいたい23時に寝て朝の5時くらいに起きるんだけど。約2時間に1回のペースで行ってた計算ね。しょうがないけど、やっぱり困りますよね。それが『マカリズム』を飲み始めたら、ピタッと頻度が減ったの！ それにそれだけじゃないんだよね。体験談を読んだ時も夜間頻度の悩み以外にもいろいろ期待できるのねぇと思ったけど、実際他の変化も感じたんです。足元が冷たいなぁちゅうことがあったけど、今はそれがないのよね。きっとこのヒエヒエにもいいんじゃないかな。1日2粒で嬉しい発見がいくつもあるので、これからの更なる変化に期待してずっと飲み続けようと思っていますよ」

愛知県 杉本 康代さん（82歳）

超実感！ぐったりな毎日にさようなら～♪

夜に何度も目が覚めては個室を往復……。熟睡できないからいつも寝不足で翌朝なんだかダル重い。そんなつらいお悩みを抱えて日々を送ってはいませんか？ そんな方にとっておきのリアル体験談をお届けいたします。

疲れを翌日に持ち越さない!!

その理由は“熟成発酵 黒マカ”本場ペルーの高品質なマカのみを使用！

※「J.M.McCord及び I.Fridovichが定義した単位［J.Biol.Chem.,244 6049（1969）］に相当するSOD消去活性能として」（ともに日本食品分析センター調べ）

贅沢配合!! 中からポカポカに

金時ショウガ末　ヒハツ抽出物　黒胡椒抽出物

1日2粒でこんなに変わる!?

広島県 橋奥 敏子さん（87歳）

「広告で『マカリズム』を見つけて飲み始めたんですけど私はヒンヤリを強く強じて、夏でも靴下2枚重ね履きするくらい足元がいっつも冷たかったんです。でも1日2粒飲んでいるうちに『あれ～？ 最近、ポカポカするなぁ』って！ 足元から、あったかーい感じが上がってきて今では素足でも大丈夫になったんです。もともと『マカリズム』を始めた理由は夜に何度も目が覚めて個室に行くことが多かったから。夜だけでも3回は行っていました。でも私の場合、最近は夜間頻度が3回から1回になったんです！ 夜もぐっすりと眠れるからもう寝すぎちゃうくらいなんですよ（笑）」

◎ご年齢は取材当時のものです。◎個人の感想であり体感には個人差があります。

広告

ポカポカ ぐっすり♪ 朝 シャッキリ!!

“夜・間・頻・度”がピタッと!?

四国

すがお

55

わがマチの委員さん

吉野川市 真梶 広也さん

農地パトロールに力入れる

指導農業士でもある真梶さん

遊休化 未然に防ぐ

【徳島】「吉野川市では年々農業をする人が減って耕作放棄地が増えてきている。農地のあっせんなどを通じて遊休化を未然に防ぎ、農地を守りたい」と語るのは、吉野川市農業委員会の会長（1期目）を務める真梶広也さん（60）。

真梶さんは学習塾の講師をしていたが、もともと農業に興味があったこともあり、少子化で生徒が減ったことを機に新規就農した。

周囲の勧めもあり2008年からは農業委員を務めている。

リスク分散を図るため、菜の花やナス、ソラマメなど多品目を2・5㌶で栽培。農協や地元直売所に出荷している。

真梶さんは耕作放棄地を増やさないため、農地パトロールに力を入れている。耕作放棄地は病虫害の発生源になりやすいので、農地所有者に許可を取り除草作業を行っている。

また、利用されていない農地を新規就農者や定年帰農者にあっせんし、農地が遊休化することを未然に防止。新たな担い手の育成にも力を入れている。

そんな真梶さんの趣味は旅行。「年に1、2回嫁や子どもと家族旅行に行っている。今年は1月に宮島に行き、とても楽しかった。これからも定期的に旅行に行く予定」と笑顔で語った。

耕作放棄地引き受け規模拡大

九条ネギで地域支える

香美市の永森さん 推進委員に就任

【高知】昨年4月からは県指導農業士連絡協議会会長を務め、今年4月から農地利用最適化推進委員に就任した永森文英さん(56)＝写真＝は、耕作放棄地や高齢などで離農する近隣の生産者の農地を借り受け、徐々に規模を拡大し、香美市で九条ネギを露地2・1㌶、施設50㍍栽培している。

水稲と施設でヤッコネギ、トルコギキョウを栽培する家庭に生まれた永森さんは、県内の高校を卒業後、関東の企業に就職した。33歳のときに父親から一緒に農業をやらないかと声をかけられて帰郷。親元で就農し、3年後に父親から経営を譲り受けた。

2014年に九条ネギの生産や加工、販売を行う農業法人の講演会を受講したことがきっかけで、15年に同法人の契約農家となり、九条ネギに品目転換した。

施設と露地で栽培を始めた。施設での栽培管理は経験と技術を持っていたが、露地栽培は初めての取り組みで苦労が続いた。「種まきから試行錯誤した。露地栽培は雨が降ると病気が出やすく、防除にも苦労して、順調に栽培できるのに3年かかった」と当時を振り返る。

また、同時期に、地域農業の維持発展と生産者の所得向上のため、近隣のネギ生産者と14戸で生産組合を立ち上げ、販売専用の法人を設立。販路拡大に取り組んだ。

「耕作放棄地の増加に危機感を覚えている。解消に努めながら、地域農業の担い手となる農業者の育成に意欲的に取り組んでいきたい」と笑顔で語った。

地域で親しまれてきた食文化 絶やさず伝承

郷土料理の魅力、子どもたちに

愛媛県農山漁村生活研究協議会

県内各地で活動続ける

上ミカンの果汁を搾る児童ら（伊予地区）、下みかんスイートポテト

【愛媛】県農山漁村生活研究協議会（小野山かをり会長）は、2007年から、地域で親しまれている食文化を児童らに伝承する「食文化普及講座」を実施してきた。

愛媛県から委託を受けた「えひめ食農教育推進事業」の一環として取り組むもので、県内13の地区協議会でそれぞれ取り組んでいる。

2024年度は、計41回の講座が各地で開催され、延べ1101人を対象に、「はだか麦入りすいとん」「みかんスイートポテト」「ひなずし」など、地域で伝わる郷土料理や地域の産品を使用した料理の作り方を伝えた。

小野山会長は「高齢化による会員の減少という課題に直面しているが、長年にわたり、地域の先輩が紡いできたこの組織や活動をしっかり次世代につないでいきたい」と話す。

そのほか、郷土料理の調理の様子を撮影し、動画レシピとしてユーチューブ（同協議会ホームページ（二次元コード参照）まで）に公開するなど、幅広い世代へ食文化の伝承に取り組んでいる。

アグリビジネス ―法人化の軌跡― 30

高松市 田中 祐さん

コミュニティーを創造する場づくり

新店舗で従業員とともに。後列右から3人目が田中社長、後列中央が中田前社長

【香川】「子どもや孫の代まで続く日本の農業を守り、豊かな食事で命を育む」。高松市の㈱中田養蜂（田中祐代表取締役）は創業88年、蜜蜂を育て花粉交配に貢献することで、日本の食の根幹となる農業を支え続けている。

2013年に法人化し、20年に中田茂富前社長（現高松市農業委員）から現在の3代目、田中社長に経営継承した。従業員数も13人となり、独立をめざして研修中の者もいる。田中社長は、地域の青年会や消防団などさまざまな地域活動に関わっているほか、県内の高校、大学で授業などを行っており、食育、農業体験を通じた人材育成などにも積極的だ。

このほど、直売所をリニューアルオープンし、地域・仲間の農畜産物を紹介したり、地域活動、食育活動ができるスペースを加えた。「単なる店舗という位置づけではなく、地域住民、学生、子育て支援、農家仲間、養蜂業界など多様な人が集まって、コミュニティーを創造する場としたい」という田中社長。さらに、隣接の花畑を含め、体験型ファームパークとして整備を進めていく計画だ。

田中社長は「使う人が生み出す場所となること。それを助長する。使われることでコミュニティーを作ることができたら。理想はコミュニティー活動の延長でファンが増えること」と語る。

今月の1枚

「てまりシリーズ」人気

香川のラナンキュラス

【香川】ラナンキュラスは、薄い花びらが幾重にも重なった姿が美しい草花。中近東からヨーロッパ東南部が原産地の球根性植物で、「花金鳳花（はなきんぽうげ）」とも呼ばれる。

県オリジナル品種「てまりシリーズ」は蕾（つぼみ）の形が「手毬（てまり）」に似ており、白、ピンク、黄色、赤などカラーバリエーションが豊富で、日持ちが長いのも特徴。花言葉は「とても魅力的」で、近年、切り花用として人気が高い。

香川県は、生産量が全国2位（2021年）。最盛期（2～3月）は過ぎたが、今月まで出荷が続く。

農福連携で人手不足解消図る

育苗・収穫重なる時期

徳島市の枝川さん 事業所に委託

徳島市指導農業士会の会長としても担い手の育成にも力を入れている枝川さん

【徳島】「育苗と収穫が重なる時期、農福連携は人手不足の解消にとても役に立っている」と語るのは、徳島市農協勝占いちご部会の部会長を務める枝川農園の枝川博嗣さん（43）。「さちのか」や「ゆめのか」を17㌃栽培している。

枝川さんは、育苗ポットへの土入れ作業を就労支援B型事業所に委託している。きっかけは県の農業支援センターに紹介されたマッチングセミナー。そこで近くの就労支援B型事業所と知り合った。

育苗と収穫の作業が重なる時期は人手が足りないため、就労支援B型事業所に土入れ作業を委託することを決めた。「土を入れる量や固さなどを明確に伝えることで、健常者と遜色ない出来で、短い期間でも納期までに作業してくれるため、とても助かっている」と枝川さんは語る。

枝川さんは「今後、土入れ作業の委託量を増やす予定。地域共生社会の実現に向けて、これからも農福連携に取り組んでいきたい」と笑顔で語った。

四国

四国総局
高知県農業会議
高知市丸ノ内1-7-52
高知県庁西庁舎3階
088・824・8555

徳島県支局
088・678・5611

香川県支局
087・813・7751

愛媛県支局
089・943・2800

広告

熟成黒マカ マカリズム

信頼の有機JASマカ

◎1日2粒目安に飲むだけ

●内容量：62粒（約1ヵ月分）

通常価格 3,240円(税込)

540円お得！

ボーナスコース価格 2,700円(税込)

［送料別途500円］2袋以上で 送料無料！

●ボーナスコースとは、毎月、あるいは2ヵ月に1回、ご利用ペースに合わせて定期的にお届けするサービスです。ご注文の際、「毎月」または「2ヵ月ごと」のどちらかからお選びください。●コースの内容変更やお届けの先延ばし、解約、休止も可能です。納品書に記載されている次回お届け予定日1週間前までに、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

ボーナスコース特典！《初回限定・一世帯につき一回限り》 全額返金保証

万一お体に合わない場合、商品代金を全額返金いたします（定期ボーナスコースに「2点以上お求めの方限定」）。ご希望の際は、商品到着後1ヵ月以内に下記フリーダイヤルまでご一報の上、商品容器をご返品ください。返送料はお客様ご負担にてお願いいたします。

「1日中パワフルに元気でいたい！」方は今スグ！

フリーダイヤル 0120-328-328 受付時間 午前8時～午後9時 年中無休

お客様のご希望とご予算に合わせて、その他様々な商品もご案内いたします。

フリーコール 0120-201-061 受付時間 24時間 年中無休

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 株式会社 フレージュ「全国農業新聞」係

インターネット https://www.fraijeu.com/

ハガキ・FAXでお申し込みの場合は、下の必要事項を記入して投函してください。

切手 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 (株)フレージュ「全国農業新聞」係

①商品名 ②数量 ③「毎月」または「2ヵ月に1回」※ ④郵便番号 ⑤住所（フリガナ） ⑥氏名（フリガナ） ⑦生年月日 ⑧電話番号 ⑨ご覧の新聞名

※ボーナスコースの場合

●【送料】全国一律500円。2点以上で送料無料。【お支払方法】①振込用紙（コンビニ払いまたは郵便振替）※到着1週間以内。②代金引換（現金またはクレジットカード、デビットカード）※到着時。ただし、3点以上ご購入の場合は、代金引換またはクレジットカード自動決済（初回のみ）。ご注文詳細を確認後、翌営業日に発送いたします（土曜・日曜・祝日は休業日です）。●お昼ごはポスト投函になります。●返品は未開封に限り商品到着後8日以内。返送料はご負担願います。●個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

ヒンヤリつめた～い 真夜中に……何度も目が覚め ソワソワ キレが悪い

夜に何度も目が覚めては個室を往復……。熟睡できないからいつも寝不足で翌朝なんだかダル重い。そんなつらいお悩みを抱えて日々を送ってはいませんか？ そんな方にとっておきのリアル体験談をお届けいたします。

ポカポカ ぐっすり 朝 ”夜間頻度”がピタッと!? シャッキリ!!

愛知県 杉本 康代さん（82歳）

超実感！ ぐったりな毎日にさようなら～♪

夜中に何度も目が覚める……。年だからしょうがない？

「60代までは本当になんの心配もなく過ごせたんですが、70歳を過ぎたあたりから夜の頻度が少しずつ増えてきちゃったの。年だからまぁしょうがないかと対策はせずに諦めていましたが、たまたま『マカリズム』を飲んだ人の体験談を見て、私の悩みによさそうだったから早速注文して頻度の悩みに取り組むことにしたのよ」

回数もヒエヒエもピタッと

「私の場合、夜は3回くらい行っていたかな。早く寝ると、その分頻度も増えるから普段はだいたい23時に寝て朝の5時くらいに起きるんだけど。約2時間に1回のペースで行ってた計算ね。しょうがないけど、やっぱり困りますよね。それが『マカリズム』を飲み始めたら、ピタッと頻度が減ったの！ それにそれだけじゃないんだよね。体験談を読んだ時も夜間頻度の悩み以外にもいろいろ期待できるのね～と思ったけど、実際他の変化も感じたんです。足元が冷たいな～ちゅうことがあったけど、今はそれがないのよね。きっとこのヒエヒエにもいいんじゃないかな。1日2粒で嬉しい発見がいくつもあるので、これからの更なる変化に期待してずっと飲み続けようと思っていますよ」

疲れを翌日に持ち越さない!!

その理由は “熟成発酵 黒マカ”

本場ペルーの高品質なマカのみを使用！

*「J.M.McCord及び I.Fridovichが定義した単位［J.Biol.Chem.,2446049(1969)］に相当するSOD消去活性能として」（ともに日本食品分析センター調べ）

贅沢配合!! 中からポカポカに

金時ショウガ末　ヒハツ抽出物　黒胡椒抽出物

1日2粒でこんなに変わる!?

広島県 橋奥 敏子さん（87歳）

「広告で『マカリズム』を見つけて飲み始めたんですけど私はヒンヤリを強く強じて、夏でも靴下2枚重ね履きするくらい足元がいつも冷たかったんです。でも1日2粒飲んでいるうちに『あれ～？ 最近、ポカポカするなぁ』って！ 足元から、あったかーい感じが上がってきて今では素足でも大丈夫になったんです。もともと『マカリズム』を始めた理由は夜に何度も目が覚めて個室に行くことが多かったから。夜だけでも3回は行っていました。でも私の場合、最近は夜間頻度が3回から1回になったんです！ 夜もぐっすりと眠れるからもう寝すぎちゃうくらいなんですよ（笑）」

◎ご年齢は取材当時のものです。◎個人の感想であり体感には個人差があります。

地域資源で持続可能に挑戦

温泉水・蒸気でハウス加温

食材廃棄減らす活動にも力注ぐ

九重町のタカヒコアグロビジネスとグループ会社

上温泉熱暖房システムで冬でも暖かい広大なハウス内、右アートな空間でこだわりの料理を堪能できる

【大分】「日本一のおんせん県おおいた」を謳う大分県は、源泉数、湧出量ともに全国第1位。この恵まれた地域資源を活用して持続可能な事業に取り組むのが、九重町の㈱タカヒコアグロビジネス（佐藤隆彦代表取締役）だ。

同社の圃場（愛称・愛彩ファーム九重）では、自噴する温泉水と蒸気を熱源に熱交換された暖房用循環水でハウス内を加温し、パプリカやトマトを周年栽培している。脱炭素に積極的に取り組み、環境に優しい持続可能な農業生産に力を入れる。

さらに、グループ会社のカフェ&レストランArt Tableいろのわでは、愛彩ファーム九重が生産した野菜や県内の生産者仲間の食材、規格外品などを積極的に取り入れている。食材廃棄を可能な限り減らし、持続可能性を意識した食文化の提供をめざしている。

タカヒコアグロビジネスは今後、生産者といっそうの連携をめざしており、地域資源で持続可能な産業をつくるという輪の広がりが期待される。

次代担う人材育成と経営発展へ

熊本市でフォーラム

フォーラムでは基調講演と事例発表で熱心な質疑が行われた

【熊本】熊本市認定農業者協議会と市、農業委員会、同市農業後継者クラブは2月6日、熊本市内で熊本市農業者フォーラムを開いた。認定農業者、新規就農者などが相互に連携・研鑽し、次代を担う人材の育成と経営発展を進めるのが狙い。約100人が参加した。

同協議会の林田純一会長は「フォーラムが経営発展のヒントになり、連携して地域の農業振興につなげてほしい」とあいさつ。基調講演では県就農支援機関協議会の平岡浩晃事務局長が「後継者・人材育成とは、未来のために『一粒の種』を播くこと」と話した。

事例発表では、イチゴ栽培の法人を経営している坂口光久さん（46）が施設機械の積極導入や品種更新、労働環境整備など経営改善の成果を報告。Uターン後に柑橘栽培で新規参入した福島徳秀さん（44）は「農地や機械、技術もなかったが、地元農家の助けで経営を確立できた」と話した。

（熊本市農業委員会）

ジャガイモ 掘って、もらって、食べて！

長島町で今月、二つのイベント

【鹿児島】長島町の長島古墳公園小浜崎フィールド周辺で4月18日（金）から23日（水）にかけて、町制20周年記念「じゃがいも掘り取りウィーク」が開かれる。

期間中は午前と午後に分けて、参加料1組千円（1区画3㌔）で最大120組（土日は最大240組）が、ジャガイモの掘り取りを楽しめる。

参加はインターネットによる事前申込制で4月11日まで、当日不可（二次元コード参照）。このほか会場ではジャガイモの注文販売も行われる。

また27日には「第14回じゃがいもまつりinながしま」が、B&G体育館前広場で開かれる。例年県内外から約1万人の来場者でにぎわい、今年も先着順でじゃがいもプレゼント、じゃがいも掘り取り体験（1組千円）、じゃがいも詰め放題（1人500円）、さまざまなジャガイモ料理の試食のふるまいのほか、町制20周年を記念して来場者へ無料で牛丼を配布する予定。

ぜひこの機会に長島町を訪れ、ジャガイモづくしのイベントをご堪能ください。

左から坂口るみ農業委員、飯田満穂会長、脇田恵子農業委員

佐賀市・下村ファーム

逸品「菜種油三吉」

今月から数量限定で米や海苔もいかが

【佐賀】佐賀市久保泉町の㈲下村ファーム（下村幸蔵代表、54）では、有機肥料を使用した米・麦・大豆のほか、菜種を12㌶栽培し、菜種油「菜種油三吉」を販売している。品種は遺伝子組み換えでない「ななしきぶ」を100％使用。低温圧搾搾りで搾油し、和紙と布で濾過した一番搾りのみを詰めたこだわりの逸品だ。

下村代表の兄・下村敬一郎さんが店主を務める「江頭一郎商店」では、三吉のほか、三吉と佐賀県産の塩と海苔を使用した「江頭一郎のり」や下村代表が生産する「幸蔵米」がオンラインでも購入できる。

三吉は今月から数量限定で販売される予定。

三吉と幸蔵米を手に下村代表（右端）、江頭一郎のりを持つ敬一郎さん（中央）と妻の裕巳さん

地域の自慢の逸品

◆13◆

恩納村「皿の上の自然ーー Gastro Sara」

特産パッションフルーツの商品&料理

【沖縄】恩納村の特産品パッションフルーツは、ビタミンやミネラルを多く含み、美しい肌を保つなど美容・健康に良いと人気のフルーツだ。

この特徴を活かして、那須秋幸さん・陵子さん夫妻が経営するレストラン「皿の上の自然ーー Gastro Sara」では、オーガニックにこだわり食材の持ち味を生かした体に優しい無添加の商品や料理を展開している。

使用するパッションフルーツは天敵農法を取り入れ、有機JASを取得している地元農業者で農業委員でもある「てるてるファーム」代表の照屋和江さんから仕入れている。

和江さんは那須さん夫妻の「幸せは健康を保つ食から始まる」という考えに感動し、パッションフルーツの種も利用した商品開発にも協力した。このようなこだわりから多くの共感と根強いファンが広がりを見せている。

上レストランの従業員と那須秋幸シェフ（左から2人目）、下パッションフルーツの商品など

陵子さんは「商品を作るのに手間がかかり、大量生産できず多くの人に商品をお届けできないが、私たちの活動を通してより多くの人に健康について深く考えてほしい」と思いを語った。

食を通して健康意識持って

天敵農法で育てた照屋委員から仕入れ

九州・沖縄

九州・沖縄総局　宮崎県農業会議　宮崎市恒久1丁目7番地14　0985・73・9211

福岡県支局　092・711・5070
大分県支局　097・532・4385
佐賀県支局　0952・20・1810
宮崎県支局　0985・73・9211
長崎県支局　095・822・9647
鹿児島県支局　099・286・5815
熊本県支局　096・384・3333
沖縄県支局　098・889・6027

フレッシュファーマー

廣田 哲一さん 伊藤 大輔さん

添田町

減農薬で質の高いイチゴを生産

【福岡】添田町でイチゴを栽培している廣田哲一さん(41)＝写真右＝と伊藤大輔さん(44)＝同左＝は1年間の実務経験を経て独立し、2024年6月に㈱Lateral farmを設立した。

丁寧に管理されたほ場では、約8千株の「あまおう」を栽培している。減農薬による栽培管理はシステムを導入し調整を行うなど、細部までこだわり生産している。

今期から本格的に生産を始めた二人だが、出来は想定よりも良く、JA出荷の他に「道の駅歓遊舎ひこさん」での販売や直売をしている。

「減農薬栽培のため特に害虫対策などに苦労した。試行錯誤をし、失敗からも大きな学びがあった。偶然が重なってより甘いものができたこともあり、こういうことがあるからおもしろい」と笑顔で語る。生産拡大や質の高いイチゴの生産を目標に挑戦を続ける二人の今後の活躍が期待される。

長崎大大学院・木寺さん

九州農政局特別賞に

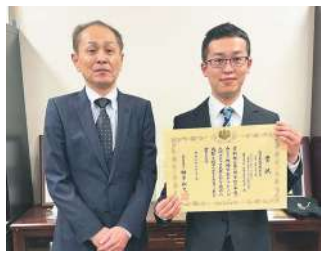
みどり戦略学生チャレンジ九州ブロック大会

【長崎】昨年10月、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、大学生や高校生らがこの戦略に基づく取り組み成果を報告する「第1回（令和6年度）みどり戦略学生チャレンジ九州ブロック大会」が開かれ、39の個人やグループから取り組み成果が提出された。

長崎大学大学院の木寺啓太さんは、鶏糞を利用したミルワームの飼育検証を行い、ミルワームによって農業廃棄物の鶏糞をタンパク質に変換できる可能性が高いことなどを発見した。

木寺さんの試みや努力が実を結び、栄えある九州農政局特別賞を受賞し、この3月に九州農政局長崎県拠点の下村利文地方参事官より表彰状が伝達された。

下村地方参事官は「本大会では農業大学校だけでなく農学部がない長崎大学からの応募もあり、今後さらに農業に興味をもつ若い世代が増えてほしい」と話した。



木寺さん（右）と下村地方参事官

地元産のレモンでケーキを作りたい

産地化進む日之影町

【宮崎】日之影町は宮崎県北部のくり、ゆず、きんかんの栽培が盛んな山間地域。「地元産のレモンを使ったレモンケーキを作りたい」と菓子製造業者から相談があり、試験的に地元産レモン果汁を保存していたゆず生産・加工業者の協力で、レモンケーキが誕生した。

このレモンケーキはたちまち人気商品になり需要が高まったことから、原料用レモンの栽培拡大に取り組んでいる。レモンはゆずより寒さに弱いため、町内でも標高が低い地域で栽培を拡大している。病気の発生も少なく、品質の良い果実が生産できており、新たなレモン産地としての成長が期待されている。

（日之影町農業委員会）

栽培が広がる日之影町のレモン

広告

ポカポカ ぐっすり♪ 朝 シャッキリ!!

"夜・間・頻・度"がピタッと!?

夜に何度も目が覚めては個室を往復……。熟睡できないからいつも寝不足で翌朝なんだかダル重い。そんなつらいお悩みを抱えて日々を送ってはいませんか？ そんな方にとっておきのリアル体験談をお届けいたします。

愛知県 杉本 康代さん（82歳）

超実感！ ぐったりな毎日にさようなら～♪

夜中に何度も目が覚める……。年だからしょうがない？

「60代までは本当になんの心配もなく過ごせたんですが、70歳を過ぎたあたりから夜の頻度が少しずつ増えてきちゃったの。年だからまぁしょうがないかと対策はせずに諦めていましたが、たまたま『マカリズム』を飲んだ人の体験談を見て、私の悩みによさそうだったから早速注文して頻度の悩みに取り組むことにしたのよ」

回数もヒエヒエもピタッと

「私の場合、夜は3回くらい行っていたかな。早く寝ると、その分頻度も増えるから普段はだいたい23時に寝て朝の5時くらいに起きるんだけど。約2時間に1回のペースで行ってた計算ね。しょうがないけど、やっぱり困りますよね。それが『マカリズム』を飲み始めたら、ピタッと頻度が減ったの！ それにそれだけじゃないんだよね。体験談を読んだ時も夜間頻度の悩み以外にもいろいろ期待できるのねぇと思ったけど、実際他の変化も感じたんです。足元が冷たいなぁちゅうことがあったけど、今はそれがないのよね。きっとこのヒエヒエにもいいんじゃないかな。1日2粒で嬉しい発見がいくつもあるので、これからの更なる変化に期待してずっと飲み続けようと思っていますよ」

1日2粒でこんなに変わる!?

広島県 橋爽 敏子さん（87歳）

「広告で『マカリズム』を見つけて飲み始めたんですけど私はヒンヤリを強く強じて、夏でも靴下2枚重ね履きするくらい足元がいっつも冷たかったんです。でも1日2粒飲んでいるうちに『あれ～？ 最近、ポカポカするなぁ』って！ 足元から、あったかーい感じが上がってきて今では素足でも大丈夫になったんです。もともと『マカリズム』を始めた理由は夜に何度も目が覚めて個室に行くことが多かったから。夜だけでも3回は行っていました。でも私の場合、最近は夜間頻度が3回から1回になったんです！ 夜もぐっすりと眠れるからもう寝すぎちゃうくらいなんですよ(笑)」

◎ご年齢は取材当時のものです。◎個人の感想であり体感には個人差があります。

ヒンヤリつめた～い 真夜中に……何度も目が覚め ソワソワ キレが悪い

疲れを翌日に持ち越さない!!

その理由は "熟成発酵 黒マカ" 本場ペルーの高品質なマカのみを使用!

熟成黒マカ マカリズム

◎1日2粒目安に飲むだけ

●内容量：62粒（約1ヵ月分）

通常価格 3,240円(税込) 540円お得!

ボーナスコース価格 2,700円(税込)

［送料別途500円］2袋以上で 送料無料!

●ボーナスコースとは、毎月、あるいは2ヵ月に1回、ご利用ペースに合わせて定期的にお届けするサービスです。ご注文の際、「毎月」または「2ヵ月ごと」のどちらかからお選びください。●コースの内容変更やお届けの先延ばし、解約、休止も可能です。納品書に記載されている次回お届け予定日1週間前までに、下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

《初回限定・一世帯につき一回限り》 ボーナスコース特典! 全額返金保証

万一お体に合わない場合、商品代金を全額返金いたします（定期ボーナスコースにて2点以上お求めの方限定）。ご希望の際は、商品到着後1ヵ月以内に下記フリーダイヤルまでご一報の上、商品容器をご返品ください。送料はお客様ご負担にてお願いいたします。

「1日中パワフルに元気でいたい！」方は今スグ!

通話料無料 0120-328-328 受付時間 午前8時～午後9時 年中無休

お客様のご希望とご予算に合わせて、その他様々な商品もご案内いたします。

通話料無料 0120-201-061 24時間 年中無休

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 株式会社 フレージュ「全国農業新聞」係

インターネット https://www.fraijeu.com/

ハガキ・FAXでお申し込みの場合は、下の必要事項を記入して投函してください。

切手 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-1 ㈱フレージュ「全国農業新聞」係

①商品名 ②数量 ③「毎月」または「2ヵ月に1回」※ ④郵便番号 ⑤住所（フリガナ） ⑥氏名（フリガナ） ⑦生年月日 ⑧電話番号 ⑨ご覧の新聞名

※ボーナスコースの場合

●［送料］全国一律500円。2点以上で送料無料。［お支払方法］①振込用紙（コンビニ払いまたは郵便振替）※到着1週間以内。②代金引換（現金またはクレジットカード、デビットカード）※到着時。ただし、3点以上ご購入の場合は、代金引換またはクレジットカード自動決済（初回のみ）。●ご注文詳細を確認後、翌営業日に発送いたします（土曜・日曜・祝日は休業日です）。●お届けはポスト投函になります。●品切は未開封に限り商品到着後6日以内。返送料はご負担願います。●個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページをご覧ください。